

SEPTENI

2020年9月期

第4四半期（通期）決算説明会

株式会社セプテーニ・ホールディングス

www.septeni-holdings.co.jp

2020年10月29日

01 2020/9期 通期レビュー

02 四半期連結決算概要

03 デジタルマーケティング事業

04 メディアプラットフォーム事業

05 中期経営方針のアップデート

06 2021/9期 業績予想

07 補足資料

2016年9月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております。

従来の「売上高」は参考情報として任意開示とする一方、IFRSに基づく指標として「収益」を開示しております。
デジタルマーケティング事業の大半を占める広告代理販売における収益は、マージン部分のみの純額計上となります。

事業の実態をより適切に表現するため、「Non-GAAP営業利益」を任意で開示しております。

Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標です。

本資料の数値は、単位未満を四捨五入して表示しております。

01

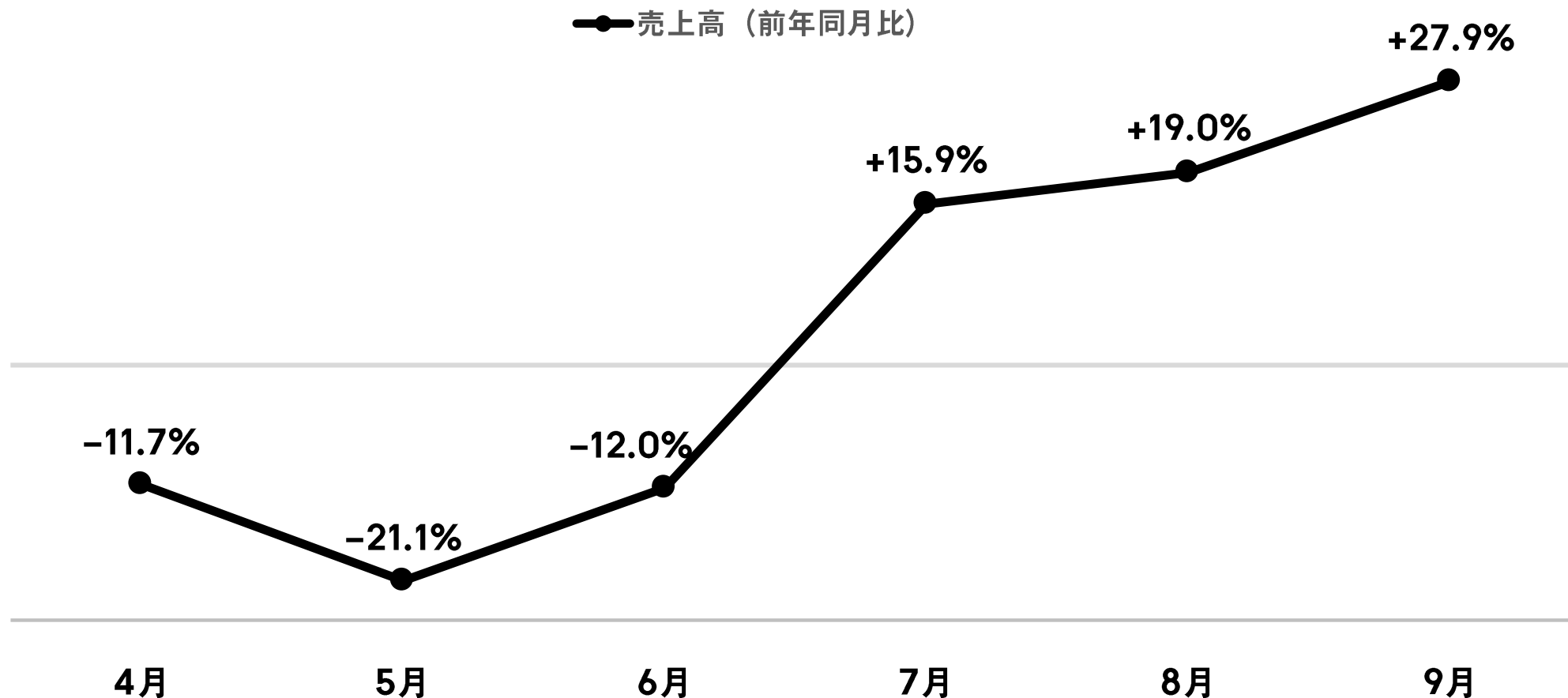
2020/9期 通期レビュー

市況への影響

- ・ 3月に入り広告需要に減少傾向が見られ、4月の緊急事態宣言を受け、減速が本格化
- ・ 緊急事態宣言解除により5月を底に広告需要が回復、以降9月まで回復が持続

事業への影響

- ・ オンライン消費の拡大に伴う需要の取り込みにより、案件が拡大
- ・ 従業員に対する在宅勤務を推奨、営業活動関連費用を中心としたコスト管理が進捗



※再集計の結果、6月の前回数値 -12.1% ⇒ -12.0%に修正

**緊急事態宣言解除を受け、広告需要は5月に底打ち
7月以降はオンライン消費の需要取り込みにより、大幅に回復**

連 結

収益

17,938百万円（前年同期比 **6.8%増**）

Non-GAAP営業利益

2,452百万円（前年同期比 **18.8%増**）

前年同期比で増収増益、収益は過去最高を更新

デジタル
マーケ
ティング
事業

収益

15,807百万円（前年同期比**4.8%増**）

Non-GAAP営業利益

5,248百万円（前年同期比**9.9%増**）

COVID-19の影響を受けるも、増収増益を確保

メディア
プラットフォーム
事業

収益

2,487百万円（前年同期比**24.0%増**）

Non-GAAP営業利益

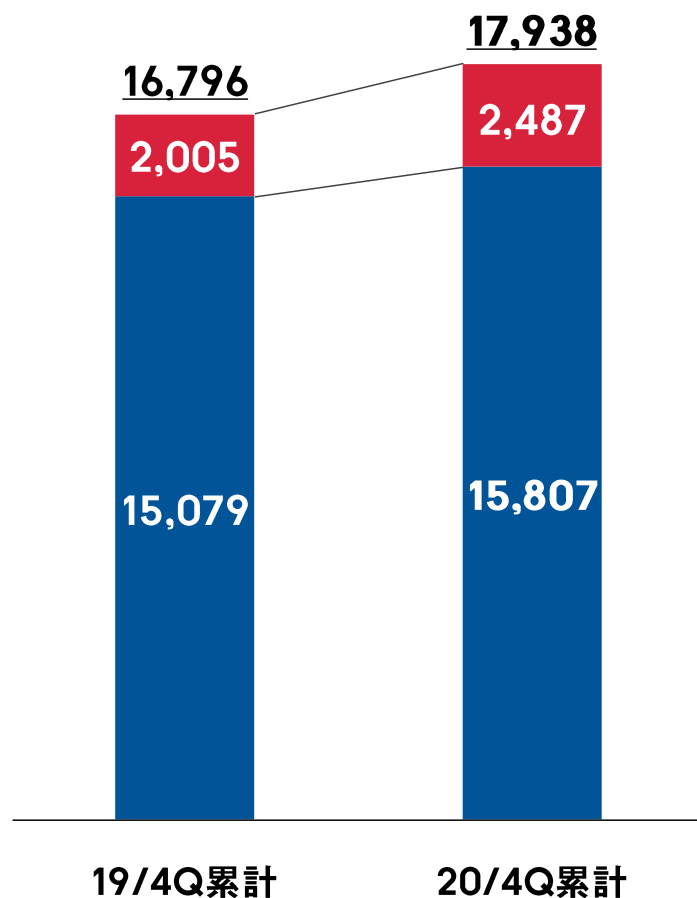
-956百万円（前年同期比**55百万円赤字拡大**）

COVID-19影響により費用増を増収でカバーできず、赤字拡大

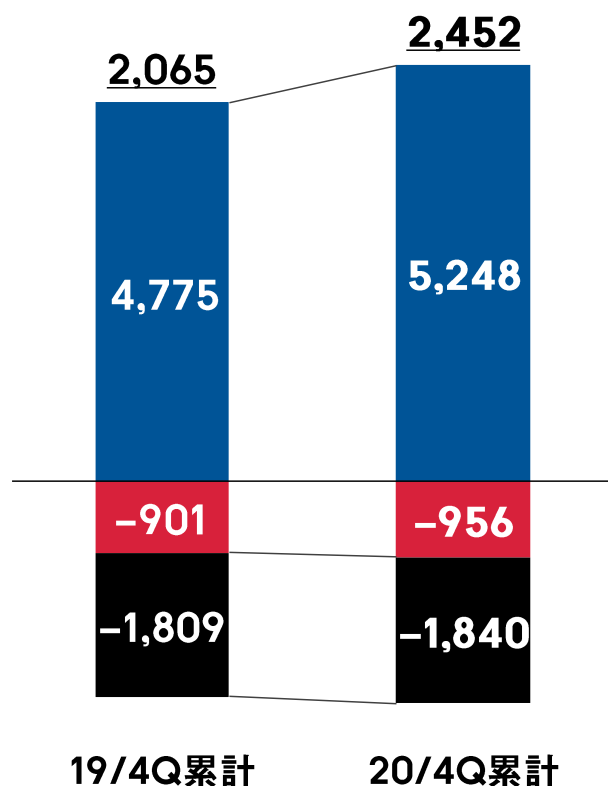
(単位：百万円)	2020年 9月期 通期			2019/ 9期 通期		2020年 9月期 通期業績予想	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	17,938	100.0%	+6.8%	16,796	100.0%	17,500	102.5%
売上総利益	14,596	81.4%	+4.5%	13,963	83.1%	—	—
販売管理費	12,156	67.8%	+1.9%	11,924	71.0%	—	—
Non-GAAP営業利益	2,452	13.7%	+18.8%	2,065	12.3%	2,000	122.6%
営業利益	2,274	12.7%	+1,141.9%	183	1.1%	—	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,437	8.0%	—	-547	—	1,100	130.7%
【参考】売上高	76,489	—	-0.0%	76,501	—	—	—

各業績数値ともに修正後の予想数値を超過

収益



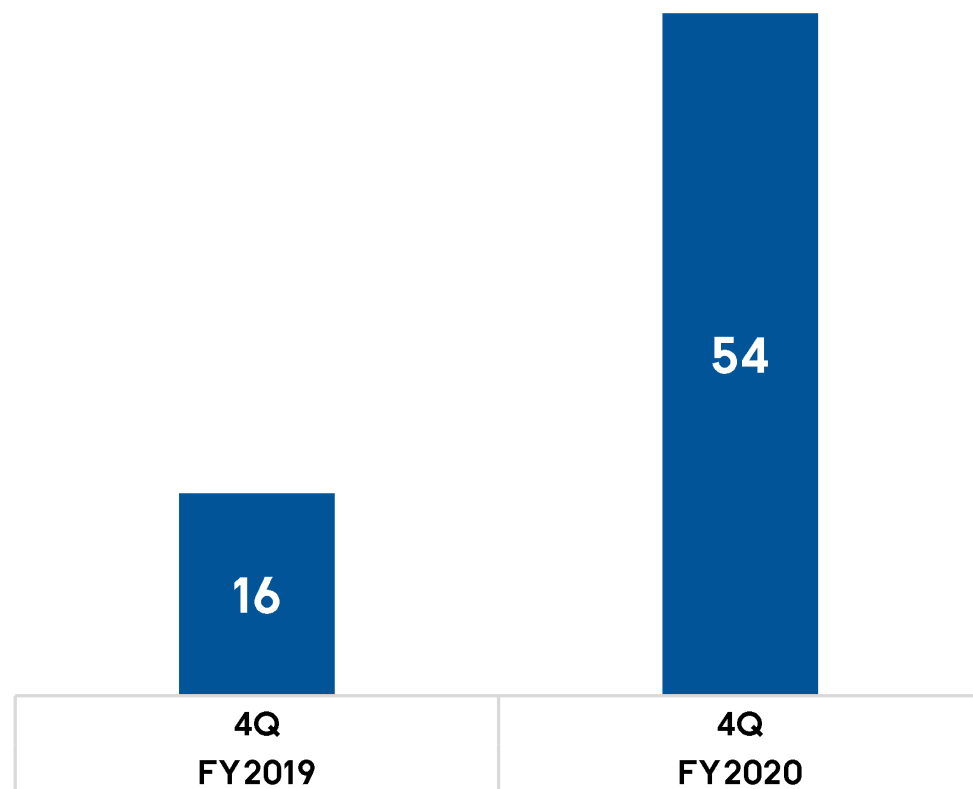
Non-GAAP営業利益



デジタルマーケティングは
増収増益の一方、
メディアプラットフォームは
増収するも費用増を
カバーできず赤字拡大

電通協業顧客数推移

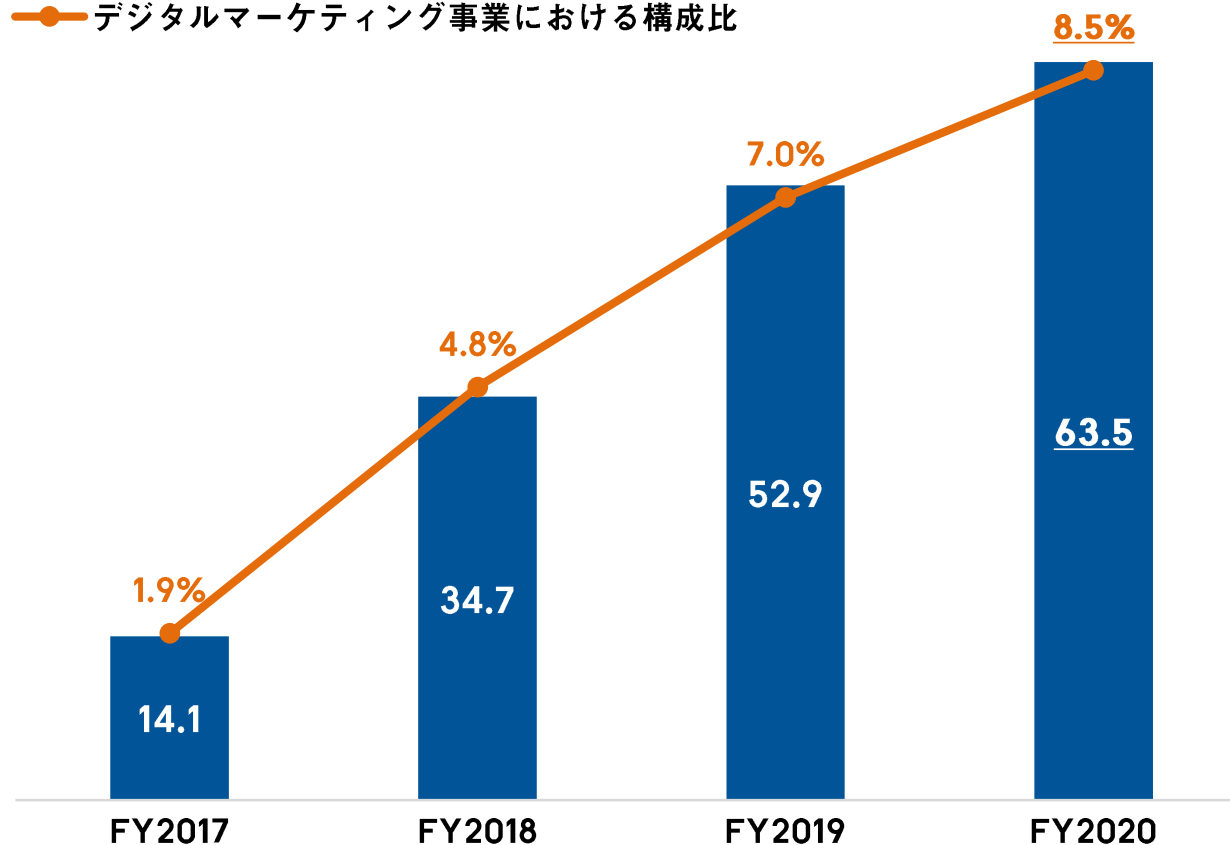
■ 電通グループ協業顧客数推移



国内ブランド広告取扱高推移

■ ブランド広告取扱高（単位：億円）

—●— デジタルマーケティング事業における構成比

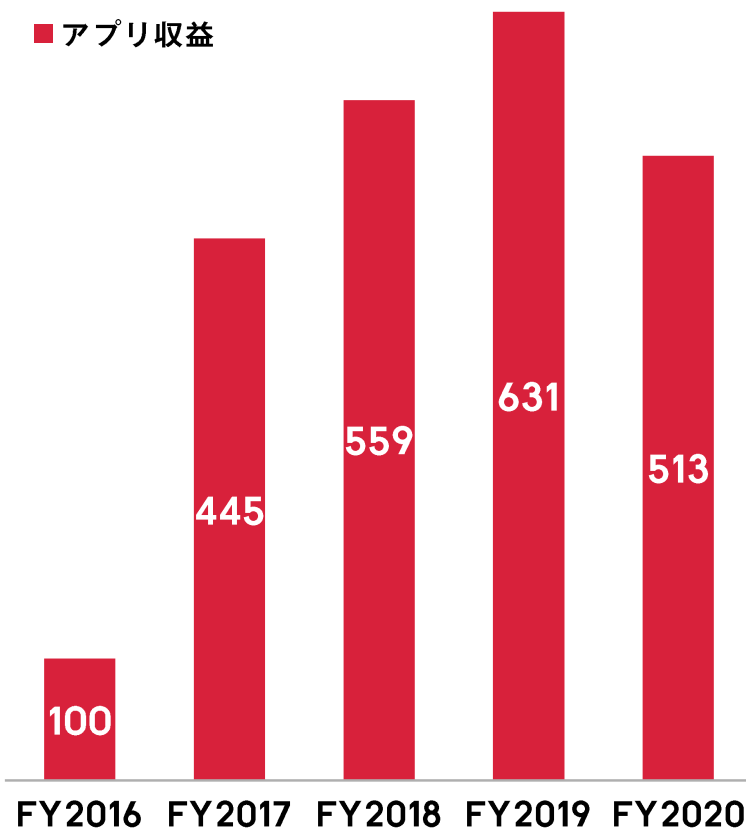


電通協業が順調に進捗し、協業顧客数は大幅に増加
国内ブランド広告も順調に増加

アプリ収益

※FY2016の実績を100として指数化

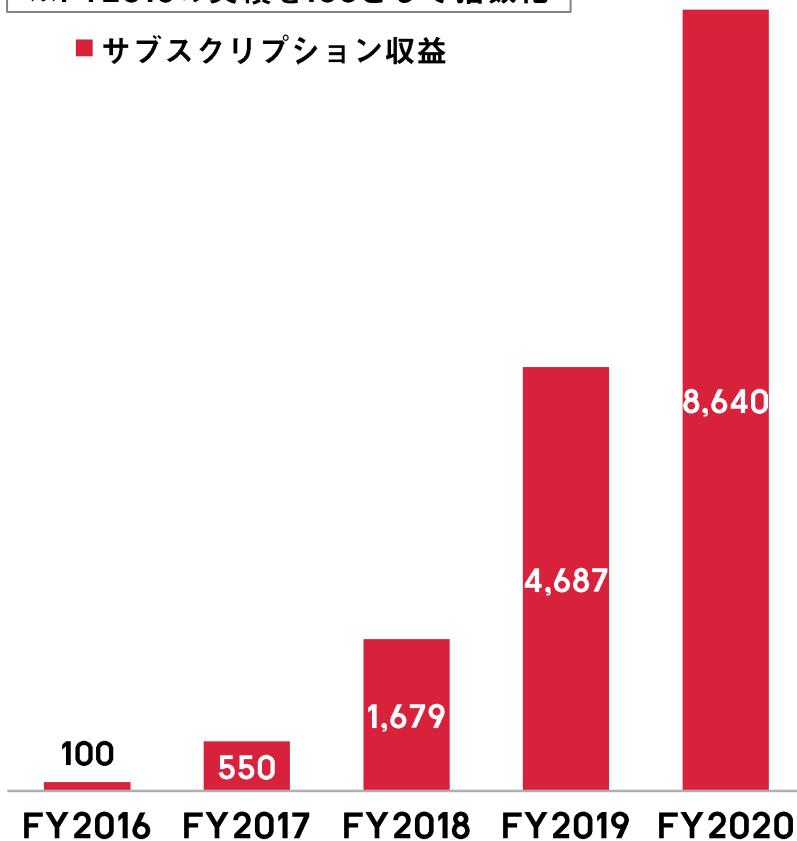
■ アプリ収益



サブスクリプション収益

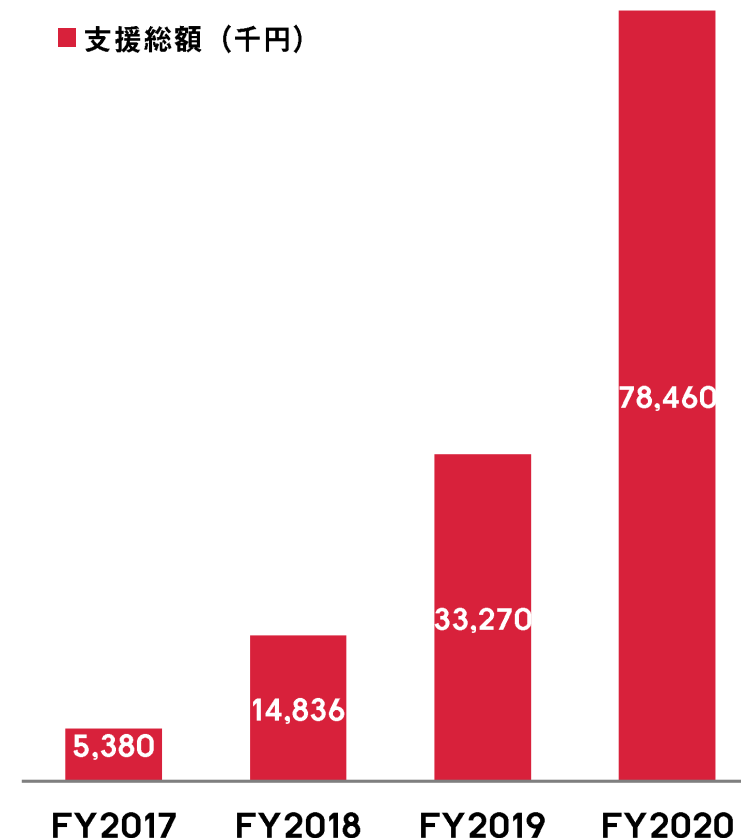
※FY2016の実績を100として指数化

■ サブスクリプション収益



クラウドファンディング実績

■ 支援総額（千円）



広告収益の減少によりアプリ収益は減少、サブスク収益が急速に成長
クラウドファンディング実績は拡大

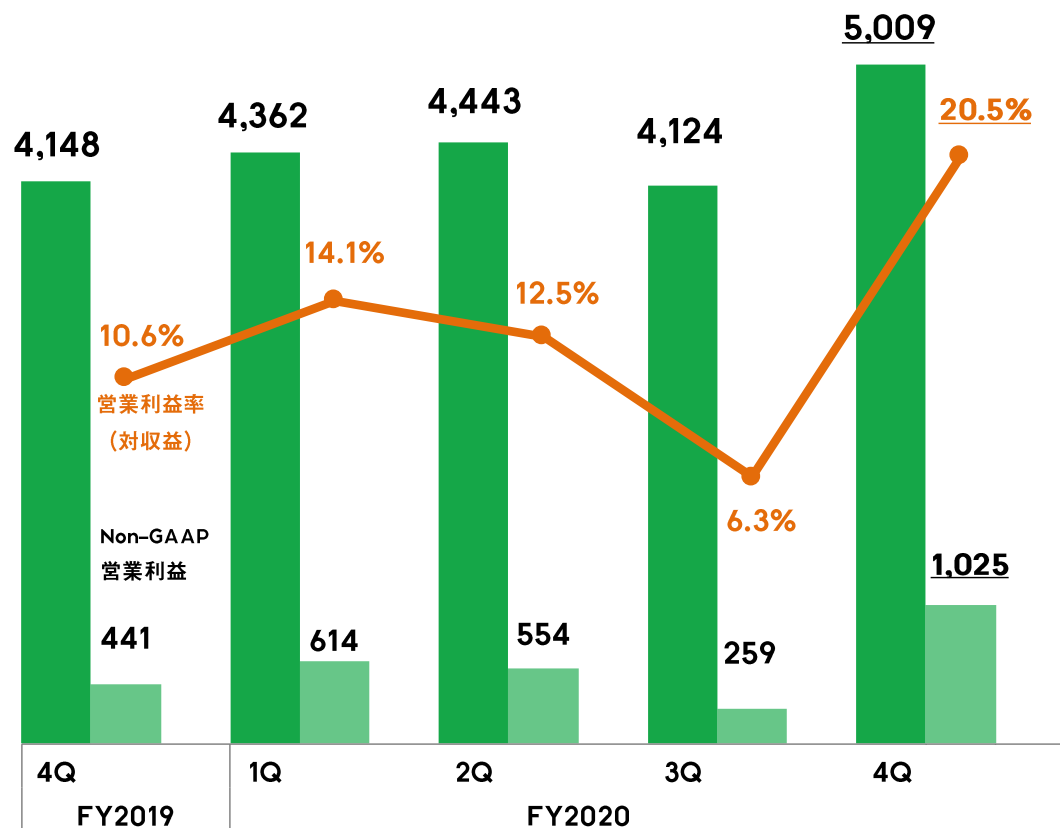
02

四半期連結決算概要

(単位：百万円)	2020年 9月 4Q			2019/ 9期 4Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	5,009	100.0%	+20.8%	4,148	100.0%
売上総利益	4,140	82.7%	+21.1%	3,418	82.4%
販売管理費	3,121	62.3%	+4.6%	2,985	72.0%
Non-GAAP営業利益	1,025	20.5%	+132.5%	441	10.6%
営業利益	1,008	20.1%	+136.2%	427	10.3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	654	13.1%	+40.0%	467	11.3%
【参考】売上高	21,804	—	+21.0%	18,018	—

案件拡大により収益、Non-GAAP営業利益は大幅増

収益（単位：百万円）



収益 **5,009**百万円
（前年同期比 **20.8%増**）

Non-GAAP営業利益 **1,025**百万円
（前年同期比 **約2.3倍**）

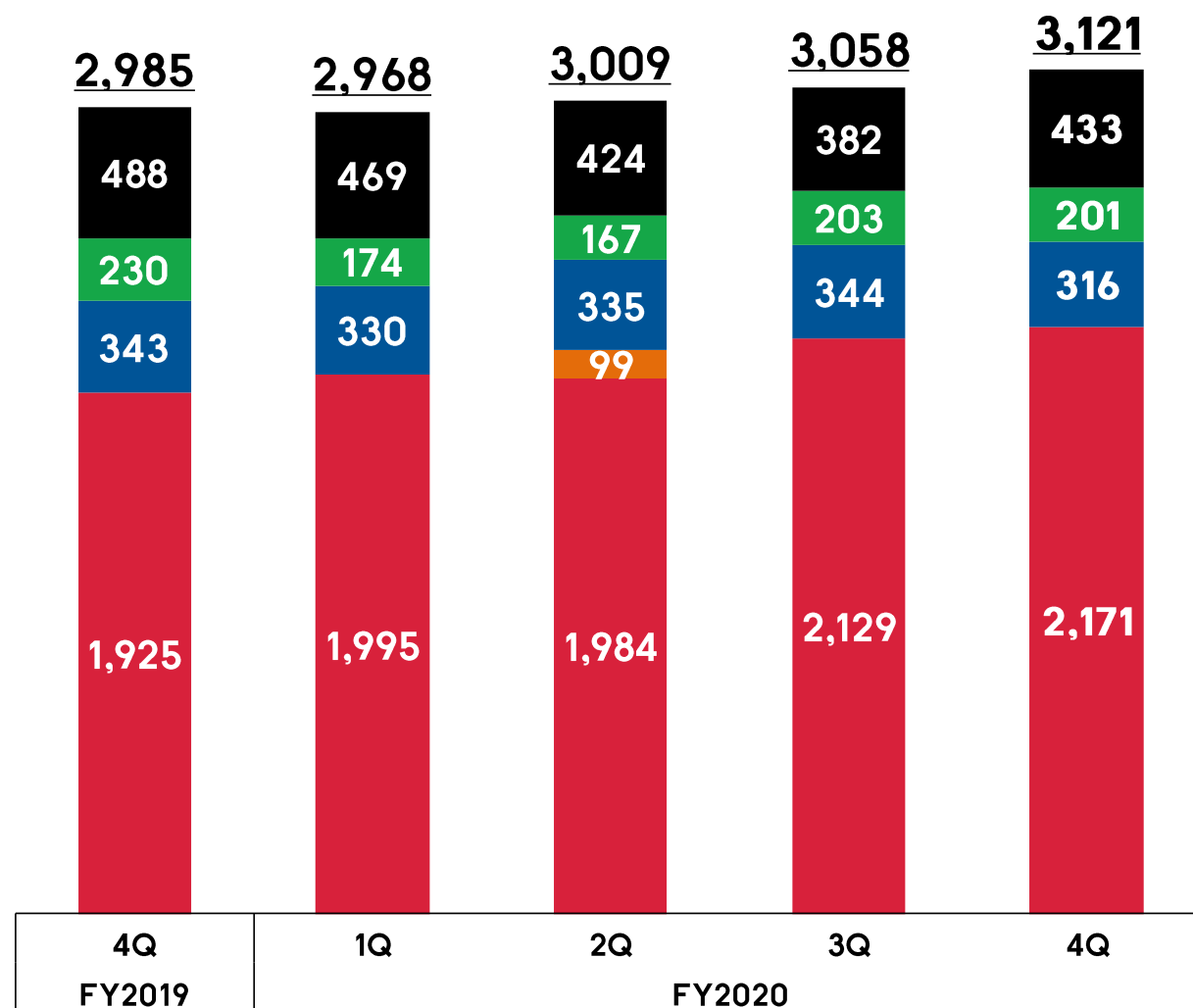
収益、Non-GAAP営業利益ともに前四半期比でV字回復

(単位：百万円)	FY2019				FY2020				QonQ	YonY
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
売上原価合計	673	740	690	730	810	853	810	869	+7.3%	+19.1%
人件費	273	286	230	239	251	257	268	287	+6.8%	+19.7%
外注費	95	143	98	112	118	131	138	84	-39.4%	-25.7%
その他	306	311	362	378	441	465	404	499	+23.6%	+32.1%
販管費合計	2,947	3,001	2,990	2,985	2,968	3,009	3,058	3,121	+2.1%	+4.6%
人件費	1,934	1,895	2,015	1,925	1,995	1,984	2,129	2,171	+2.0%	+12.8%
追加決算賞与	—	173	—	—	—	99	—	—	—	—
賃借料等※	344	343	343	343	330	335	344	316	-8.2%	-7.9%
販促費・広告費	221	167	192	230	174	167	203	201	-0.9%	-12.4%
その他	448	424	440	488	469	424	382	433	+13.4%	-11.1%

※2020年9月期よりIFRS16（リース会計基準）の適用に伴い、賃借料等の一部を金融費用として計上

広告案件拡大によりクリエイティブを中心に売上原価が増加

■ 人件費 ■ 追加決算賞与 ■ 賃借料等 ■ 広告宣伝費 ■ その他（単位：百万円）



FY2020/4Qの販管費は
安定的に推移

03

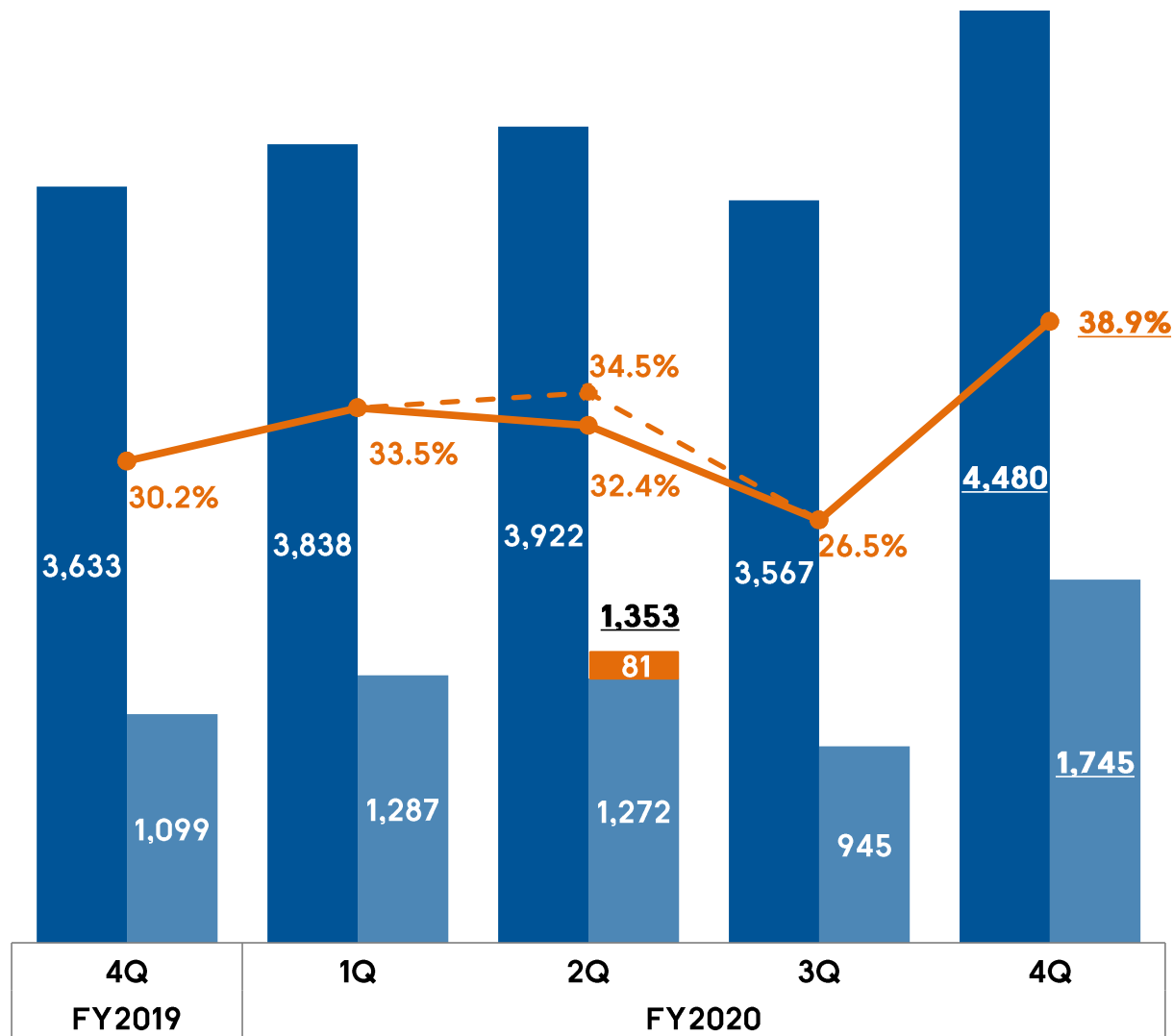
デジタルマーケティング事業

(単位：百万円)	2020年9月期 4Q			2019/9期 4Q		2020/9期 通期業績予想	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	4,480	100.0%	+ 23.3%	3,633	100.0%	15,350	103.0%
売上総利益	3,895	86.9%	+ 24.0%	3,142	86.5%	—	—
販売管理費	2,156	48.1%	+ 5.1%	2,051	56.5%	—	—
Non-GAAP 営業利益	1,745	38.9%	+ 58.8%	1,099	30.2%	4,800	109.3%
【参考】売上高	21,393	—	+ 21.3%	17,639	—	—	—

上方修正後の業績予想を収益、Non-GAAP営業利益ともに超過

■ 収益
● 営業利益率（対収益）
■ 追加決算賞与(デジタルマーケティング事業)

■ Non-GAAP営業利益（単位：百万円）
- ● - 営業利益率（対収益※追加決算賞与除く）

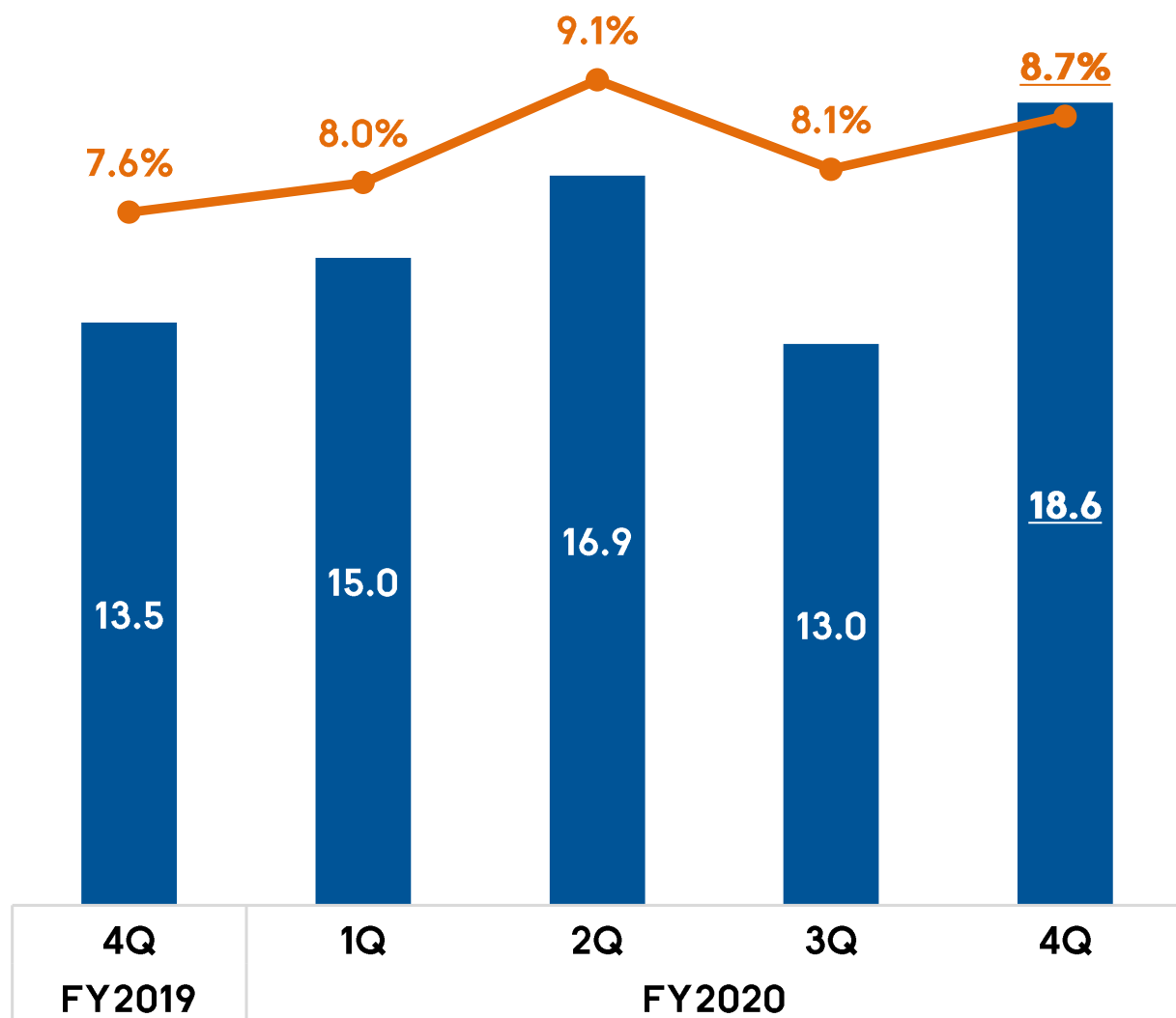


国内事業を中心に
収益が大きく伸長

四半期のセグメント利益は
過去最高を更新

■ ブランド広告取扱高（単位：億円）

● デジタルマーケティング事業における構成比



QonQ+42.9%、
YonY+38.1%と
順調に増加

* 今Qから集計方法を変更、過去分についても遡及修正済

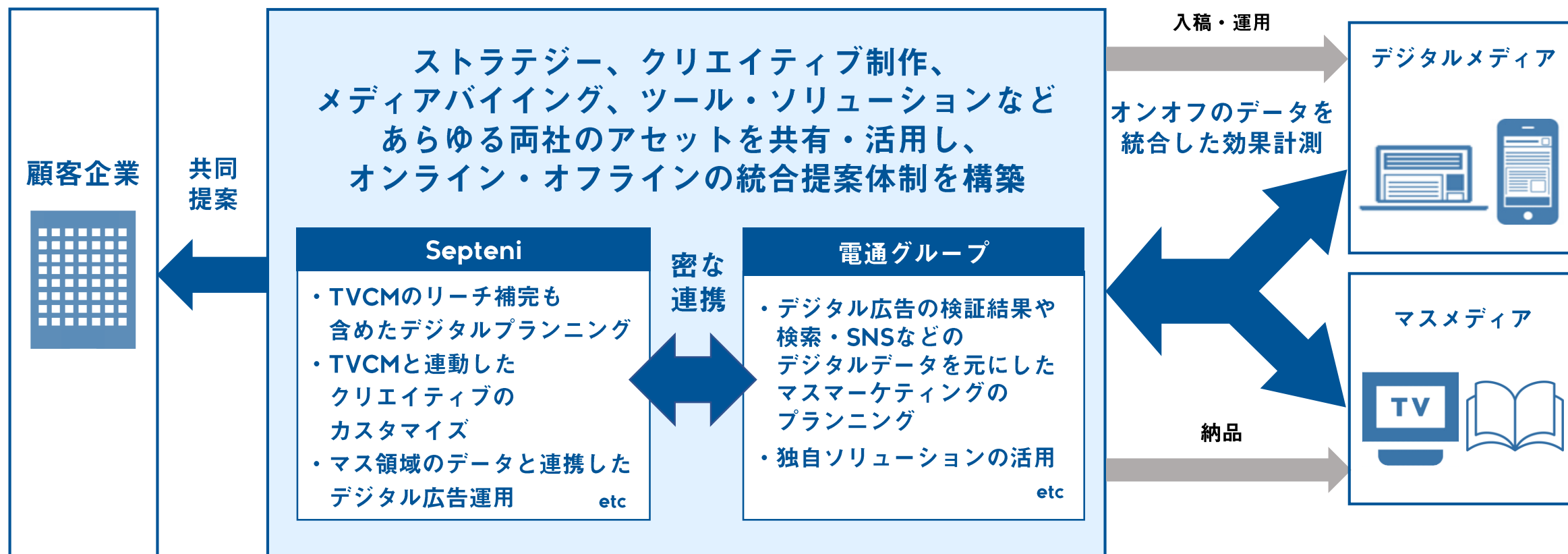
両社の顧客基盤を活用したオンライン・オフライン広告の統合マーケティング提案（イメージ）



SEPTENI

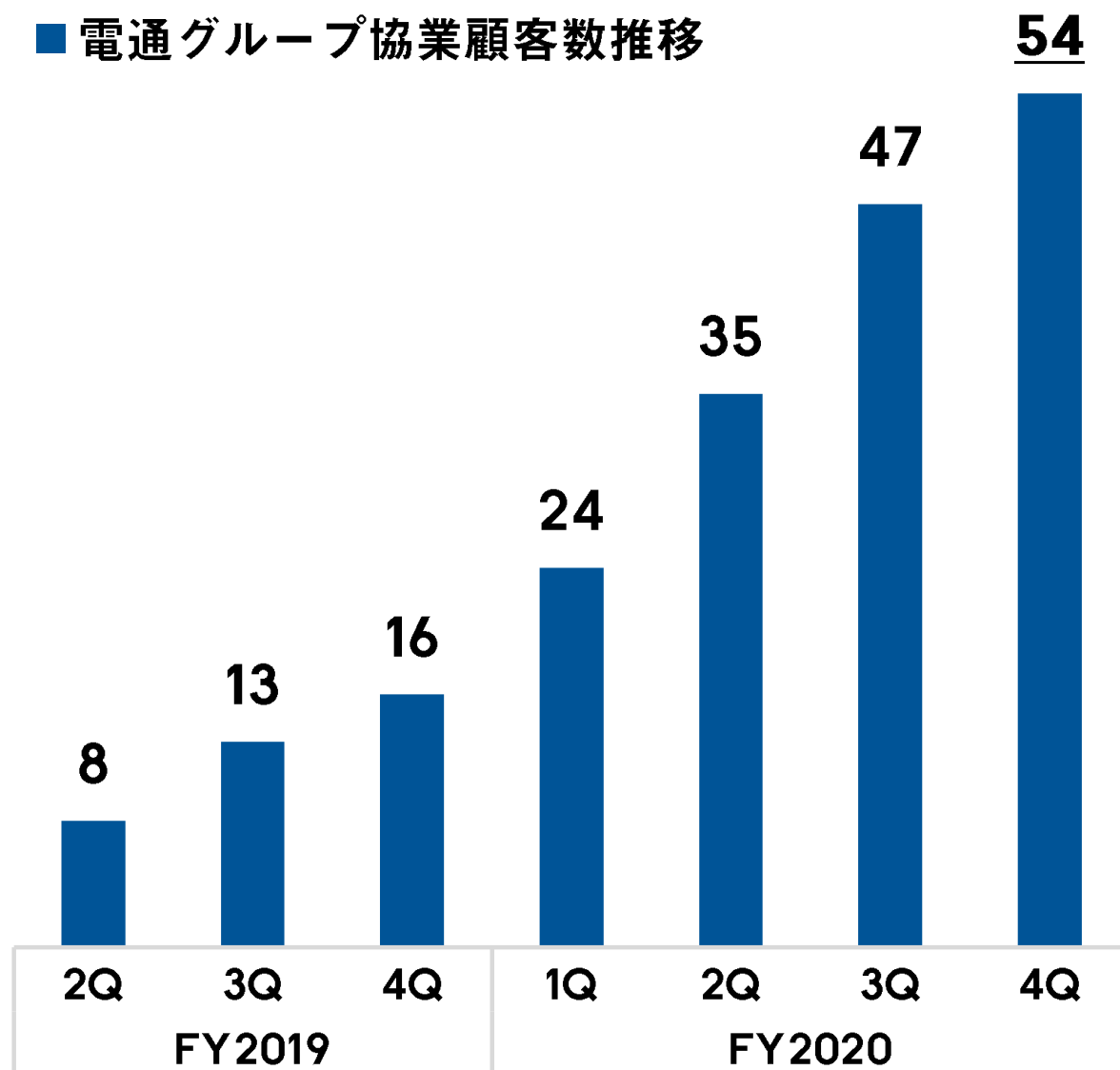


dentsu





■ 電通グループ協業顧客数推移



中期協業の顧客数
及び顧客単価が
前年同期比で増加し、
提携が着実に進捗

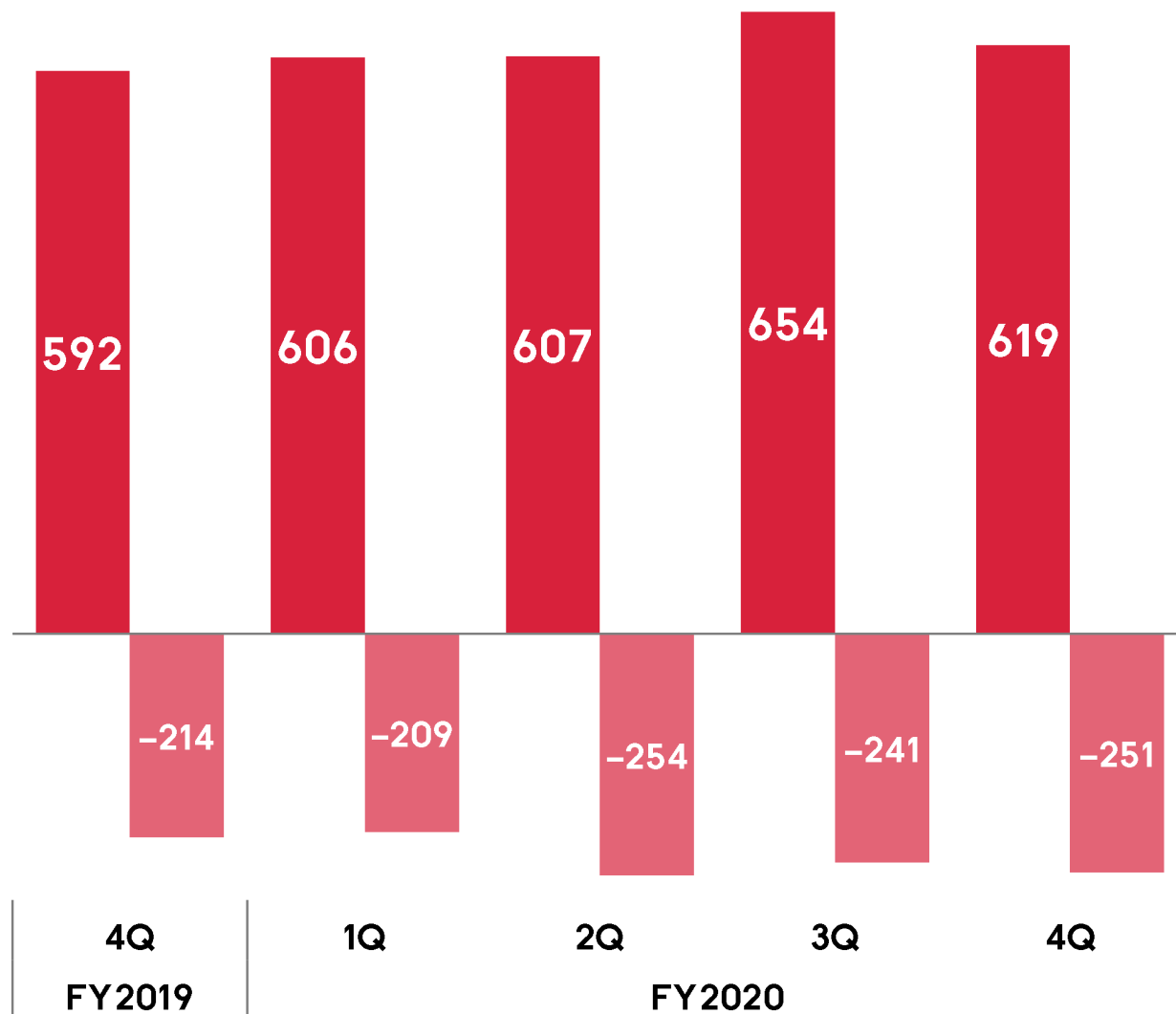
04

メディアプラットフォーム事業

(単位：百万円)	2020年9月期 4Q			2019/ 9期 4Q		2020/ 9期 通期業績予想	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	619	100.0%	+4.7%	592	100.0%	2,500	99.5%
売上総利益	336	54.2%	-4.2%	351	59.3%	—	—
販売管理費	587	94.9%	+3.9%	565	95.5%	—	—
Non-GAAP 営業利益	-251	—	-37	-214	—	-950	—

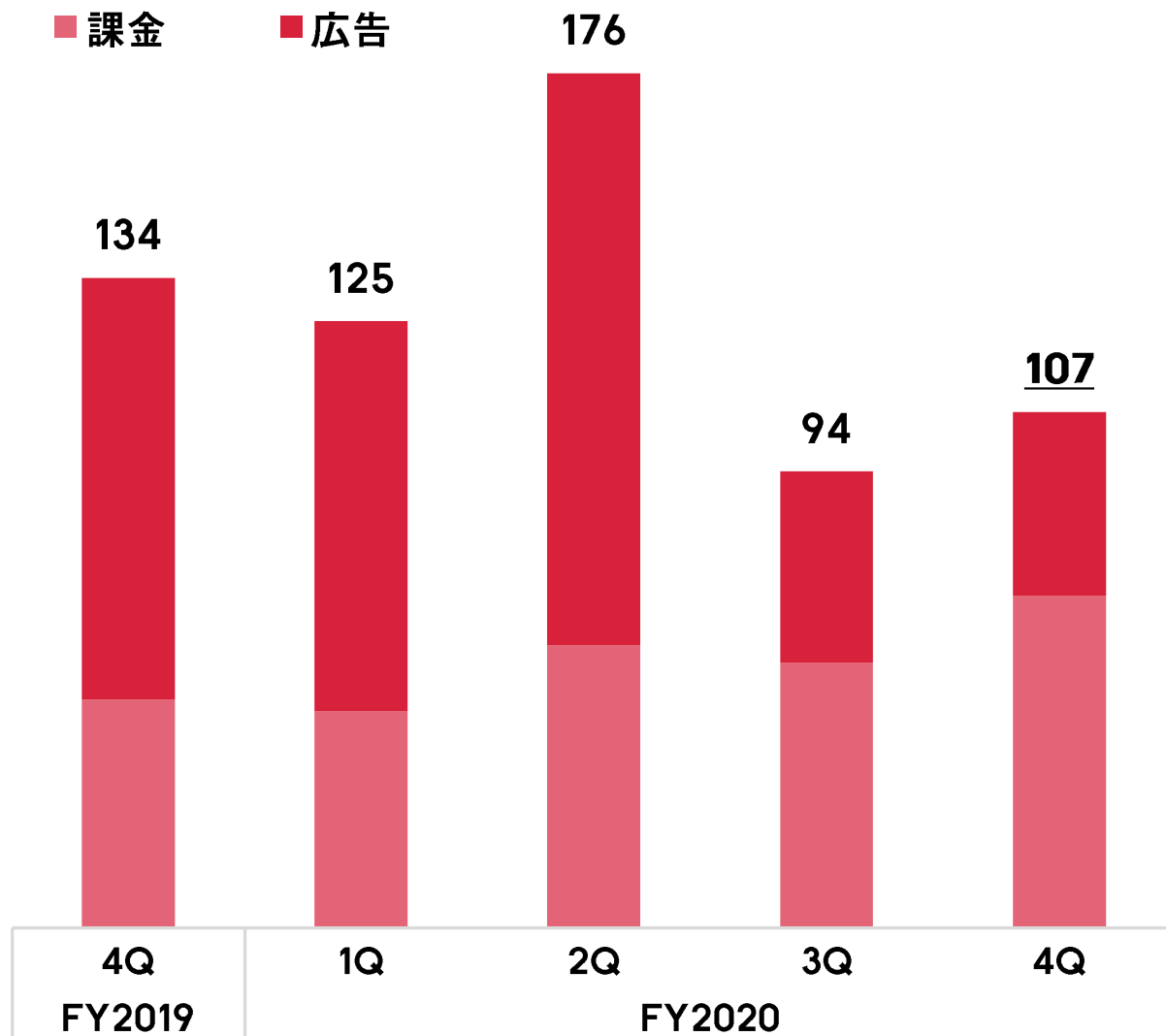
収益及びNon-GAAP営業利益は修正後の業績予想に届かず

■ 収益 ■ Non-GAAP営業利益 (単位：百万円)



利益率の高い広告収益の減少が響き、赤字が拡大

※FY2018/ 1Qの収益を100として指数化

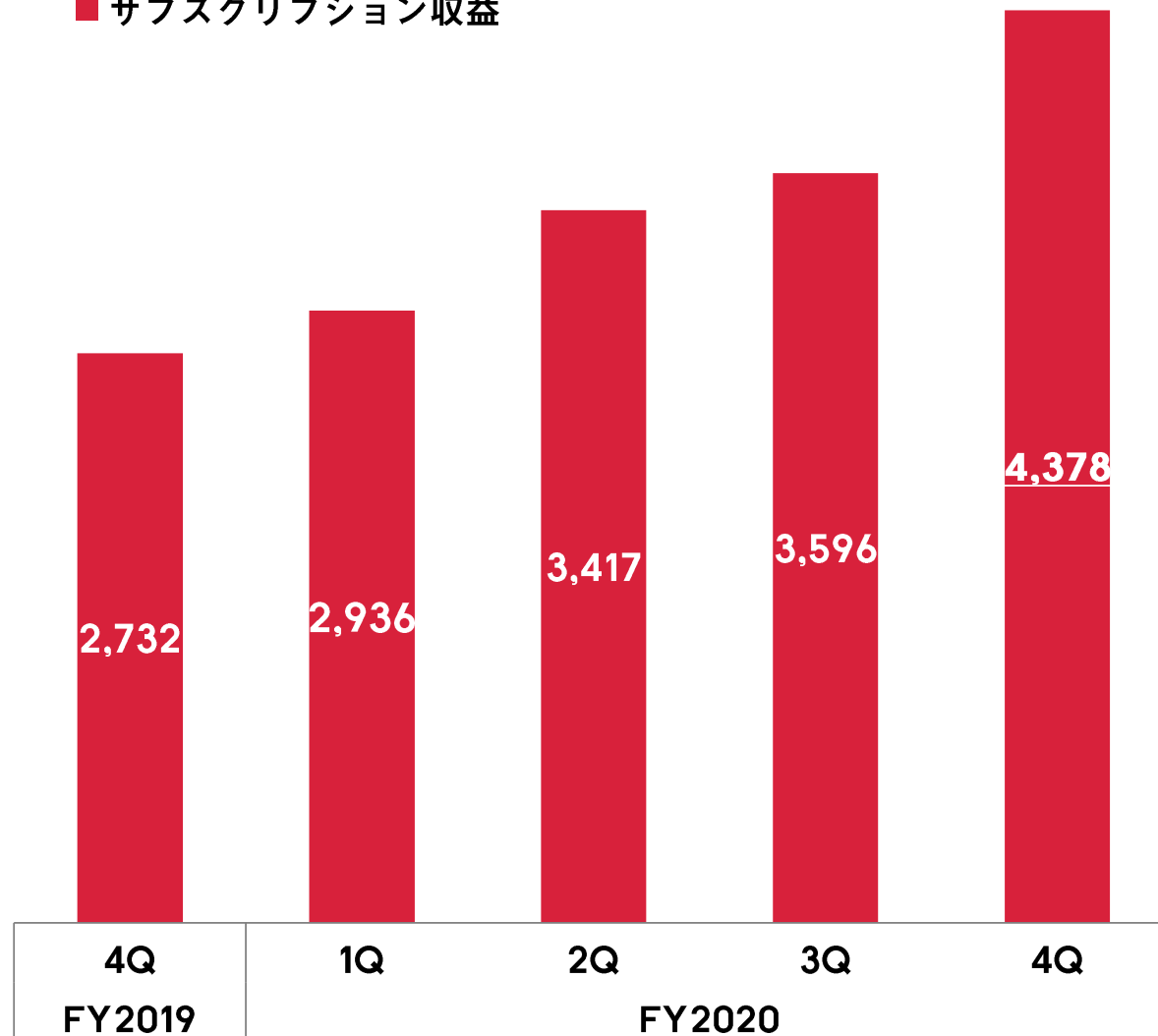


COVID-19の影響を受け
課金収益を増やす
方針へシフト

課金収益は堅調に拡大

※FY2017/ 1Qの収益を100として指数化

■ サブスクリプション収益



課金者数が堅調に増加し、
サブスクリプション収益は
前年同期比で約1.6倍に

05

中期経営方針のアップデート

既存ドメインの拡張

ネットマーケティング事業

- 運用型広告
(パフォーマンス領域)

デジタルマーケティング事業

- 運用型広告
(パフォーマンス領域)
- データ・ソリューション
- ブランド広告

広告代理から
データ・ソリューション領域

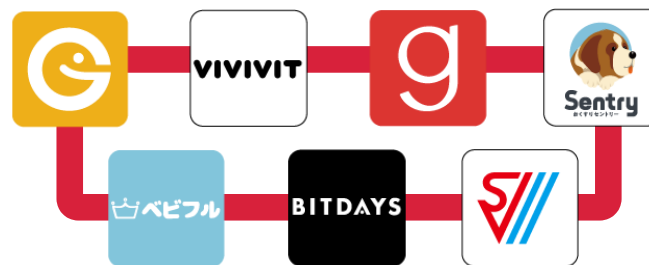
パフォーマンス広告市場から
ブランド広告市場

オンラインからオンオフ統合

メディアコンテンツ事業



メディアプラットフォーム事業



マンガアプリから
コンテンツプラットフォーム

単一メディアから
メディアコングロマリット

各社単独運営から
グロスプラットフォーム

新たな事業セグメント

新たな事業セグメントへの拡張を検討

新規ドメインへの拡張

既存ドメインの拡張

デジタル
マーケティング
事業

EC広告領域の展開強化
データ・ソリューション領域のグループ体制拡充

メディア
プラットフォーム
事業

ユーザ課金領域への注力
D2C領域の事業開発を強化

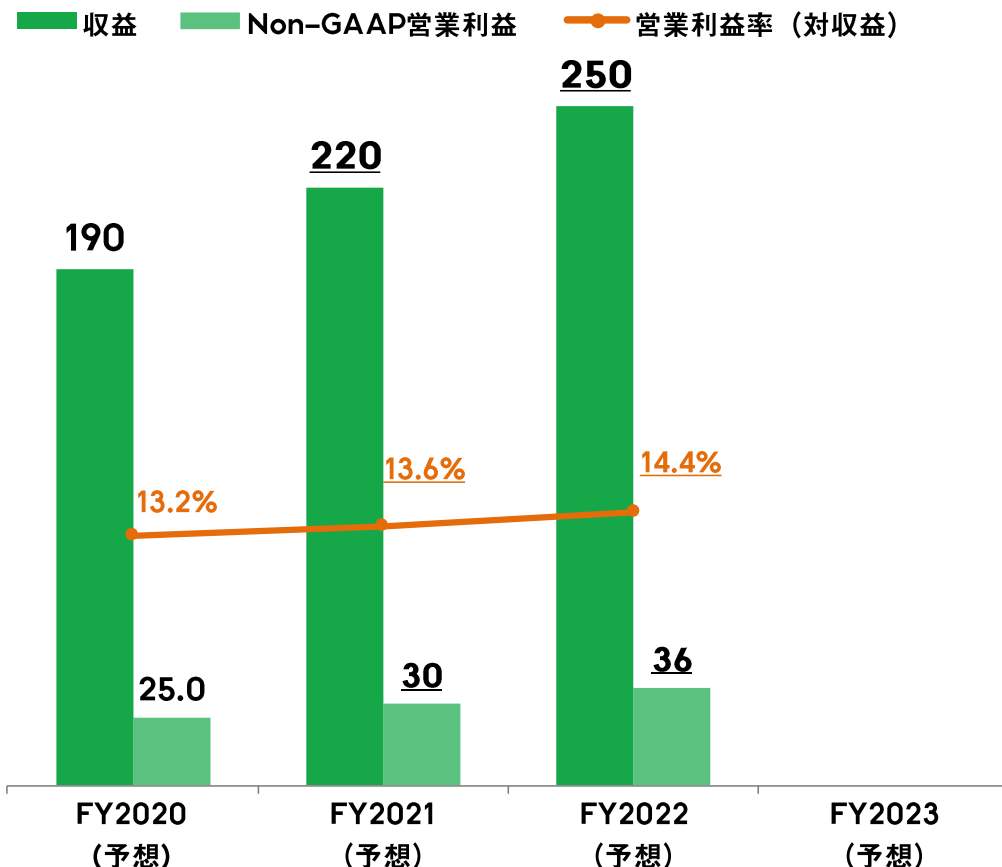
新たな
事業セグメント

業界フォーカスによりDX需要を取り込む

新規ドメインへの拡張

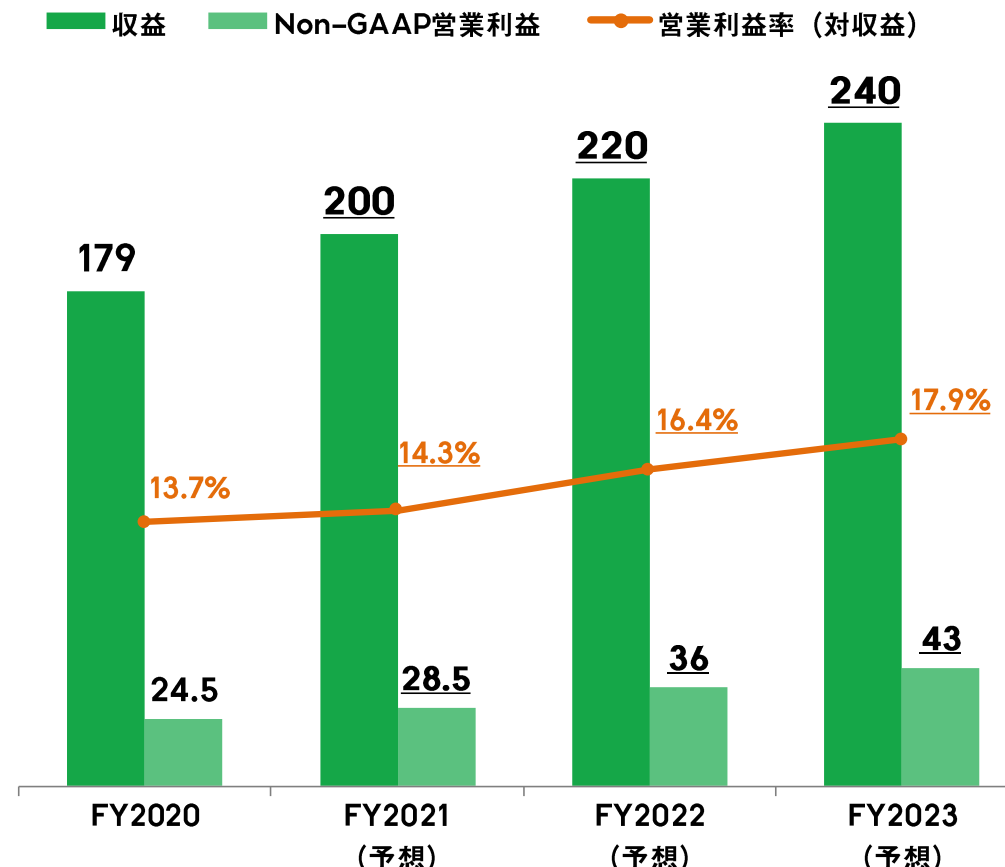
連結（アップデート前）

（単位：億円）



連結（アップデート後）

（単位：億円）



※役員向け業績連動型株式報酬制度に変更はありません

**COVID-19がもたらす環境変化への対応により、
当初の収益拡大は後ろ倒しとなる一方、利益成長の加速を見込む**

各セグメント見通し

デジタルマーケティング事業

環境適応による増収増益での持続的成長を見込む

- ・ EC広告領域、データ・ソリューション領域を成長ドライバーに育成
- ・ 電通グループとの協業促進により、市場シェアの拡大を目指す

メディアプラットフォーム事業

各事業の成長による増収、赤字幅の縮小により、3年後の黒字化を目指す

- ・ ユーザ課金領域への注力により、安定した収益の拡大を見込む
- ・ D2C領域の事業開発を強化し、新規事業創出による収益拡大を図る

06

2021/9期 業績予想

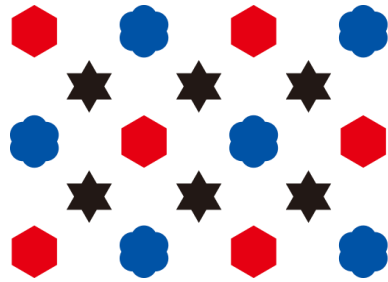
(単位：百万円)	2020年9月期 実績	2021年9月期 予想	予想成長率 (前期比)
収 益	17,938	20,000	+11.5%
Non-GAAP営業利益	2,452	2,850	+16.2%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,437	1,785	+24.2%
【参考】売上高	76,489	85,000	+11.1%

各事業の成長により増収増益の見通し

(単位：百万円)

	収 益			Non-GAAP営業利益		
	2020年9月期 実績	2021年9月期 予想	予想成長率 (前期比)	2020年9月期 実績	2021年9月期 予想	予想成長率 (前期比)
デジタル マーケティング	15,807	17,300	+9.4%	5,248	5,700	+8.6%
メディア プラットフォーム	2,487	3,000	+20.6%	-956	-800	-
消去・全社	-356	-300	-	-1,840	-2,050	-
連 結	17,938	20,000	+11.5%	2,452	2,850	+16.2%

本日はありがとうございました。



SEPTENI

お問い合わせ先

セプテーニ・ホールディングス 経営企画部IR課

www.septeni-holdings.co.jp

TEL : 03-6857-7258 E-mail : ir@septeni-holdings.co.jp

※各種数値の過去推移につきましては、次ページ以降の補足資料に記載しておりますので、併せてご参照ください。

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2020年10月29日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません。
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。

07

補足資料

スポーツ領域

J1プロサッカークラブの
ベガルタ仙台への資本参加を実施



PERF株式会社を設立
日本発のプロダンスリーグ
「D.LEAGUE」への参画を決定

PERF .inc

シェアリングアセット領域

無人コンパクトホテルの
開発・運営を行う
Hostyとの協業を開始



シリコンバレー発の
住宅関連スタートアップ企業
HOMMAへの資本参加を実施



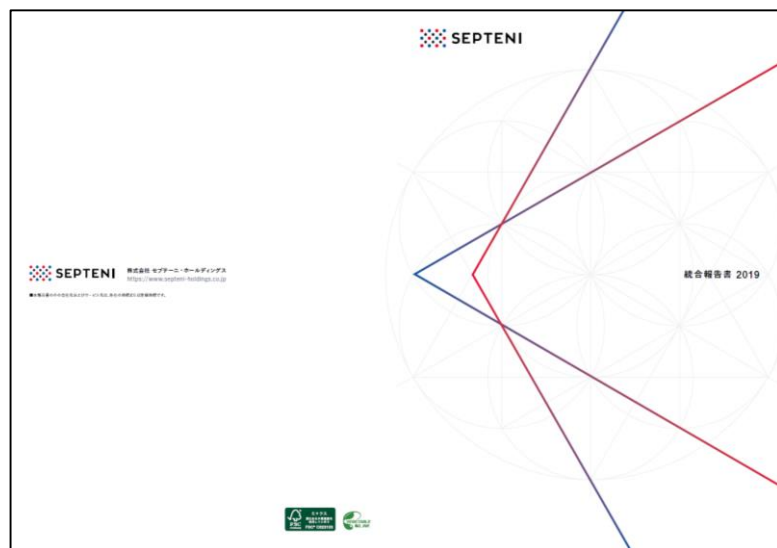
エンタメ領域

アイドルグループ
「HKT48」「NGT48」の
各運営会社を統括する
持株会社である
Sproutへの資本参加を実施



保有する資本を活用し、各領域への拡張を開始

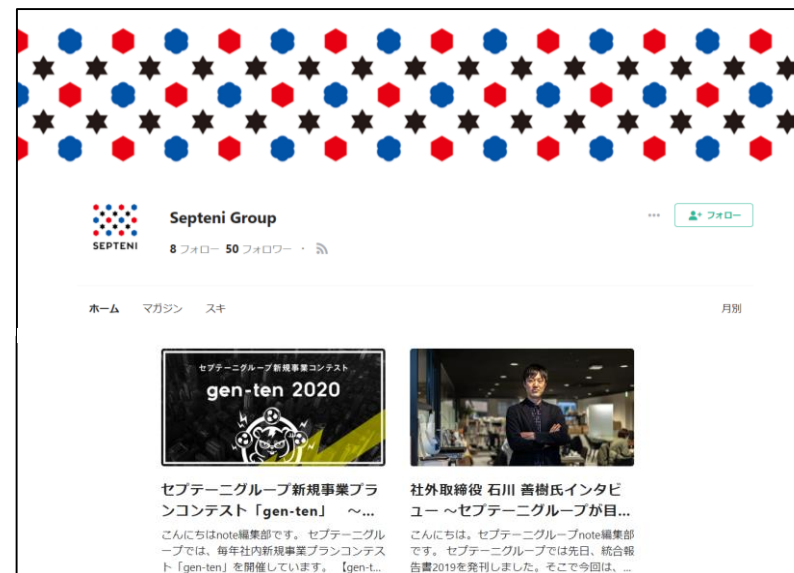
統合報告書発刊



2019年度版統合報告書を発刊しました。
当社グループの中長期での経営方針と事業戦略、
事業活動における価値創造の全体像を
公開しております。

詳細は当社ウェブサイト、
(https://www.septeni-holdings.co.jp/ir/pdf/integratedreport2019_ja.pdf)
もしくは右上のQRコードからご覧ください。

note更新



2019年12月よりセプターニグループの公式noteを
はじめました。統合報告書や開示資料には
載せきれていない、人やカルチャーにまつわる
様々な取り組みを紹介しています。

詳細は下記URL、
(https://note.com/septeni_group)
もしくは右上のQRコードからご覧ください。

安全確保への対応

当社グループ従業員および当社関係者の皆様の安全確保を最優先に、感染拡大状況を注視しながら、状況に応じた対応策を実施する（2020年6月12日に一部対応を変更）

1. 勤務形態について

- (1) **在宅勤務を推奨** ※期間については政府発表および社会情勢をもとに決定
- (2) 出社する場合、交通混雑を避けるための時差出勤の指示
- (3) 出社する場合、危機管理対策部会が定める「緊急事態宣言解除後の働き方ガイドライン」を遵守

2. 会議等について

- (1) 大規模会議（20名以上）の開催および参加禁止
- (2) WEB会議実施の推奨
- (3) 不要不急の往訪・来訪・出張・会食の自粛

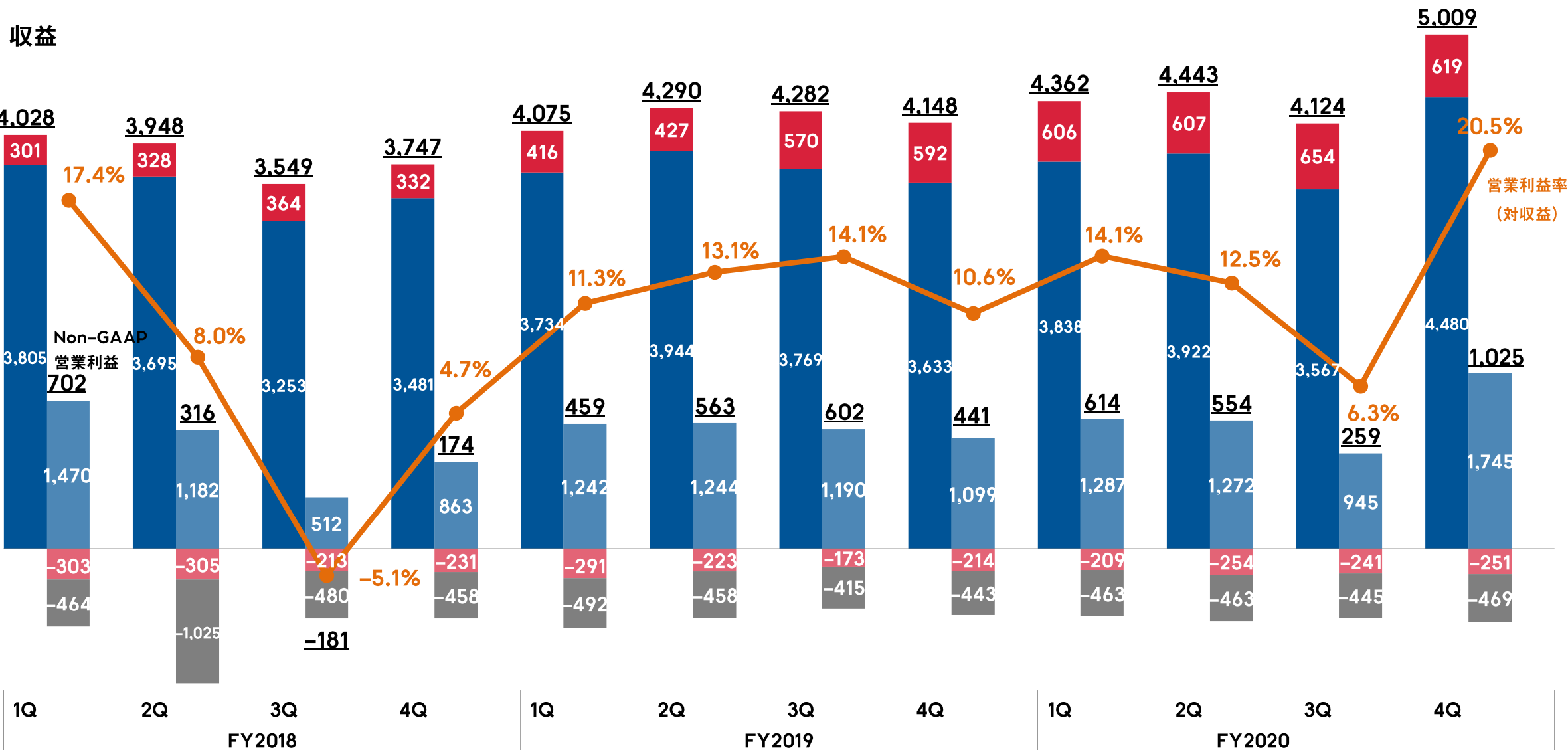
3. 感染の疑いがある場合の対応

(a) 下記に該当する場合

- ・ 本人もしくは同居人に発熱や咳など風邪の症状がある場合
- ・ 1か月以内に海外に渡航していた場合
- ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合
- ・ 急に「におい」や「あじ」の異常を感じるようになった場合
- ・ 感染者と濃厚接触の疑いがある場合

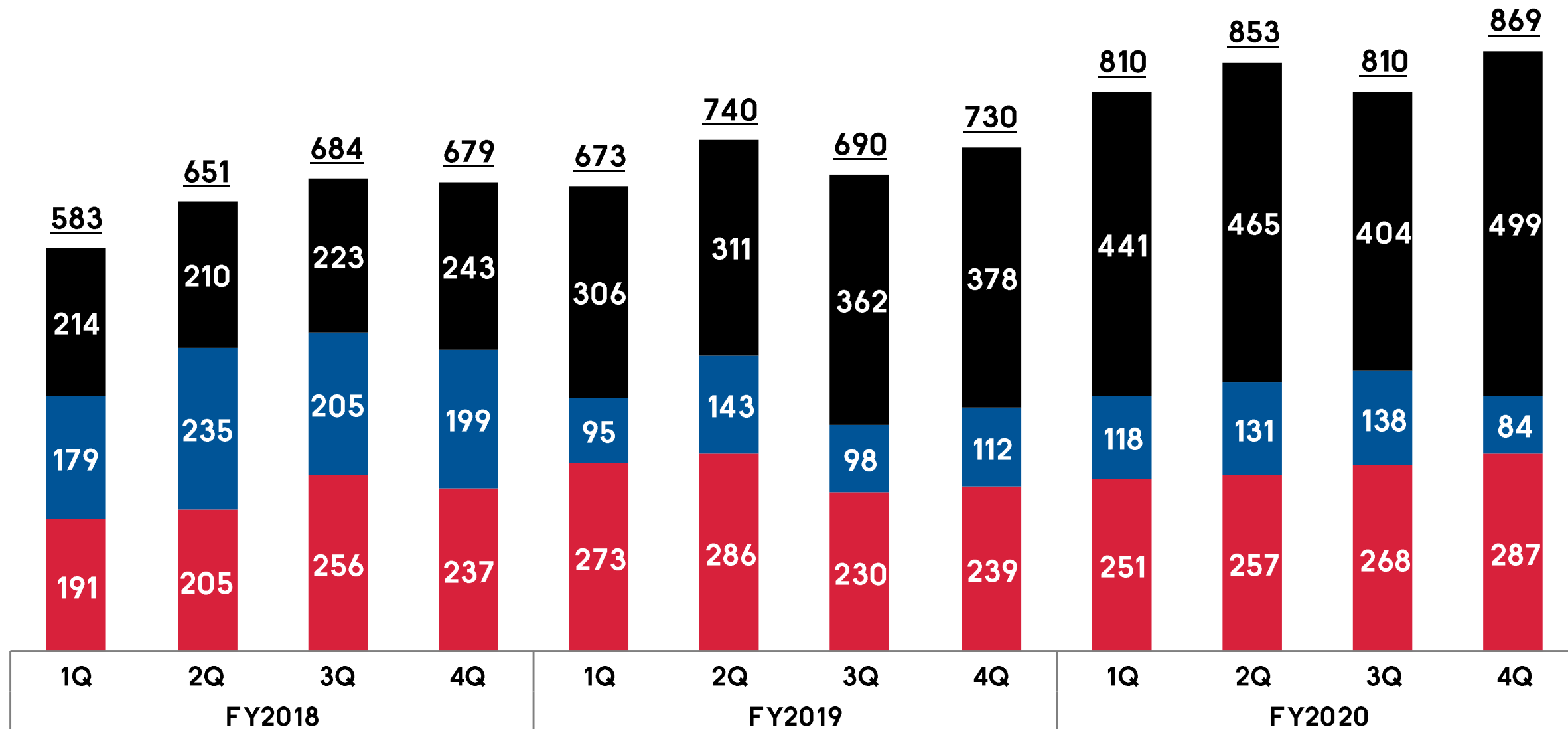
(b) 次のとおり対応する

- ・ 危機管理対策部会へ報告し、自宅待機（同居者の風邪症状の場合は在宅勤務）
- ・ 14日間の健康観察期間を設定、対象期間中は検温と報告を必須とする

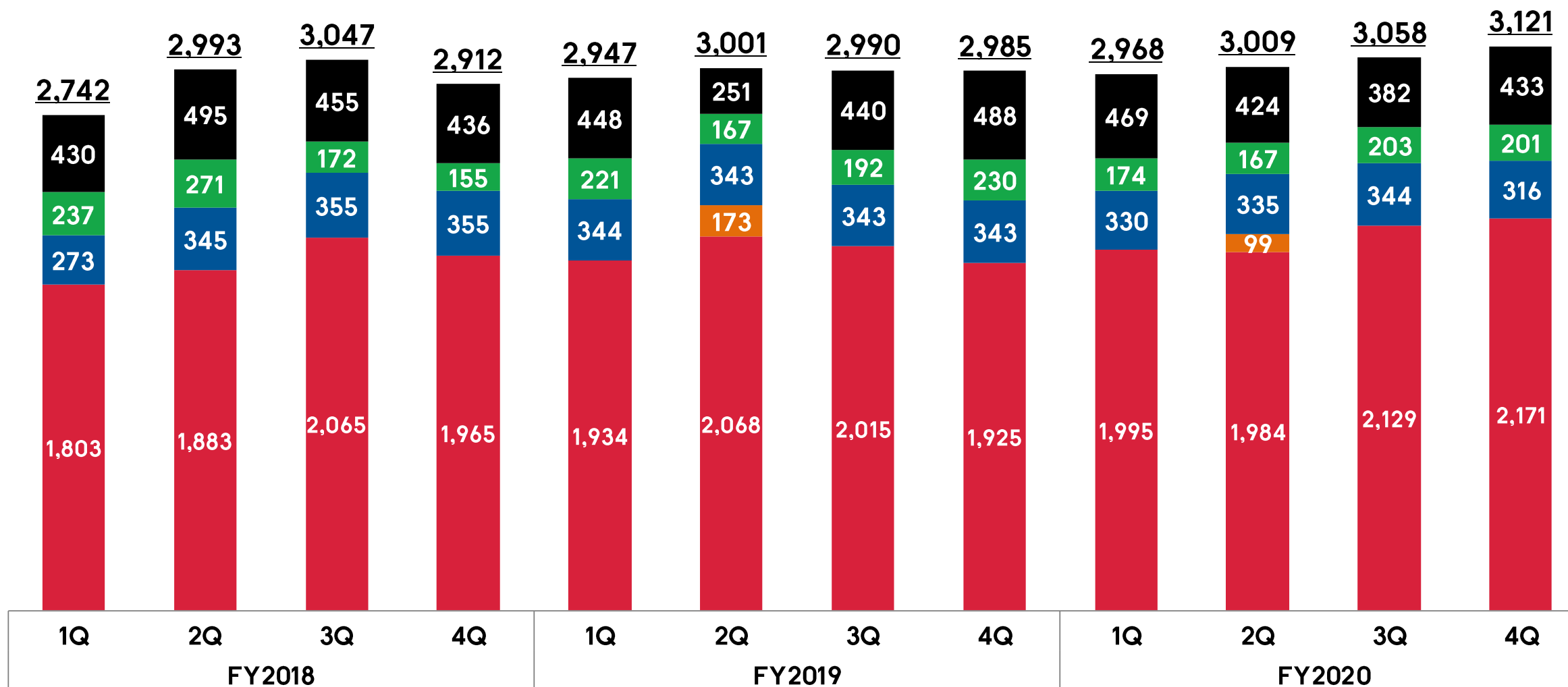


※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益（下線付数値）は一致しない

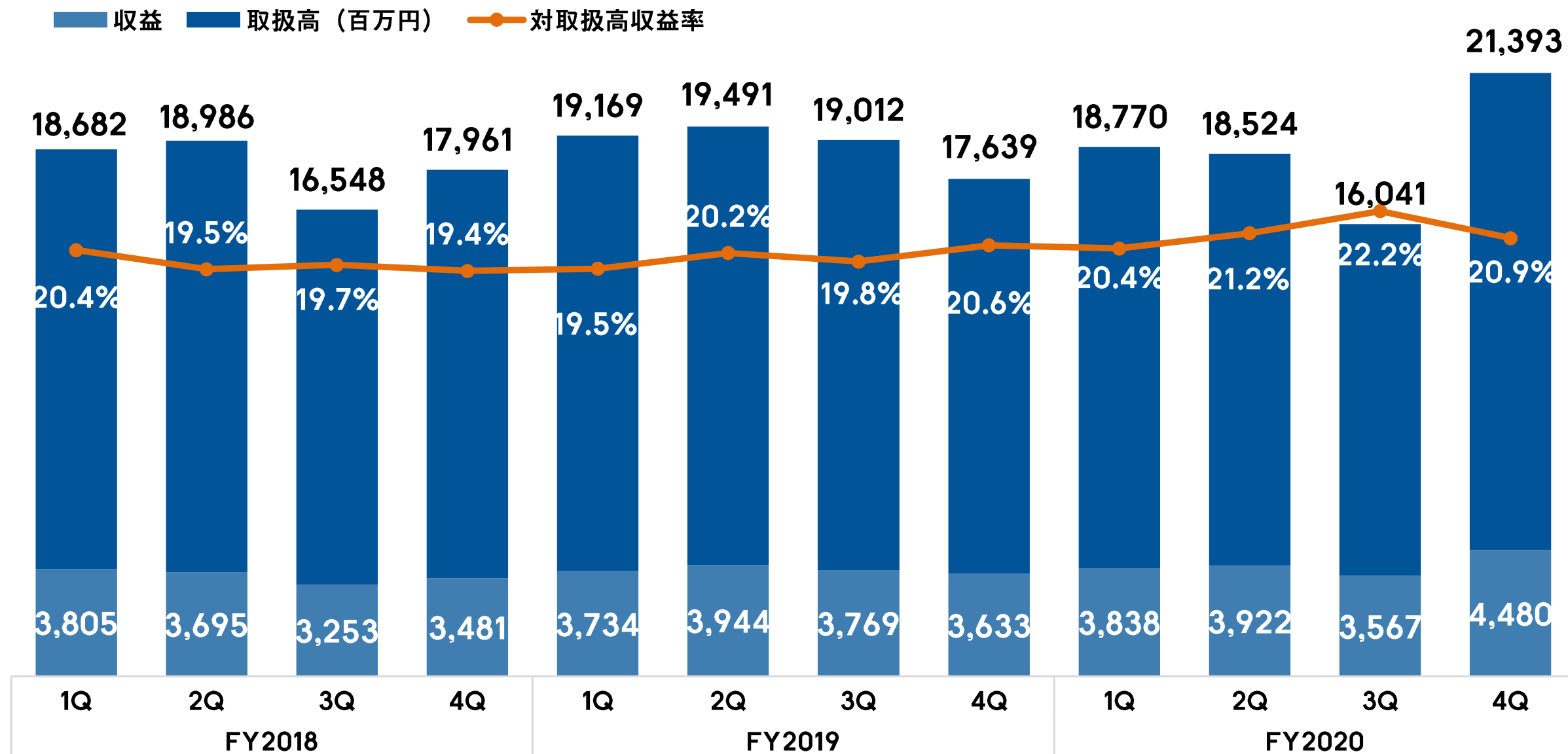
■ 人件費 ■ 外注費 ■ その他 (単位：百万円)



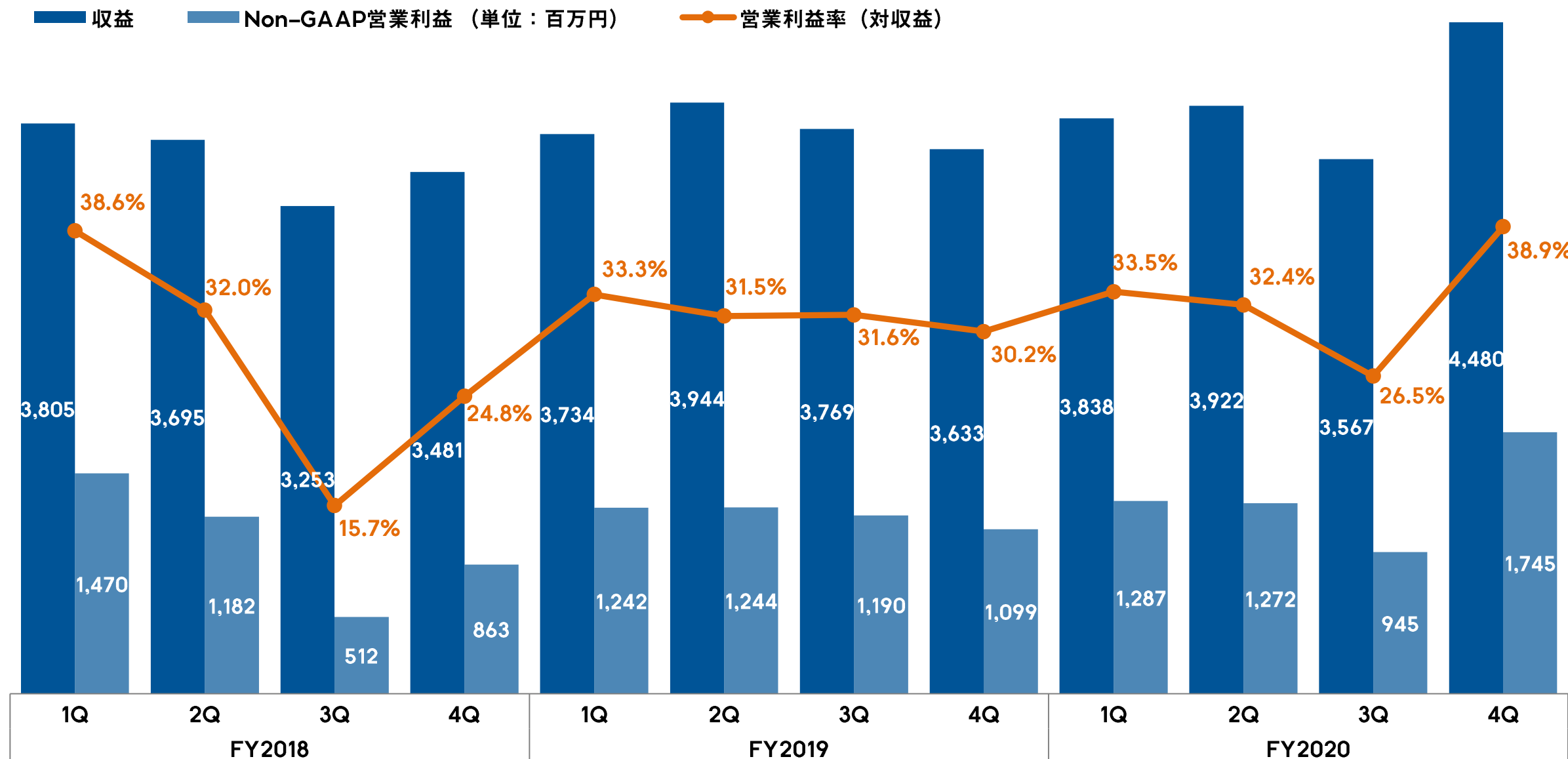
■ 人件費 ■ 追加決算賞与 ■ 賃借料等 ■ 広告宣伝費 ■ その他（単位：百万円）

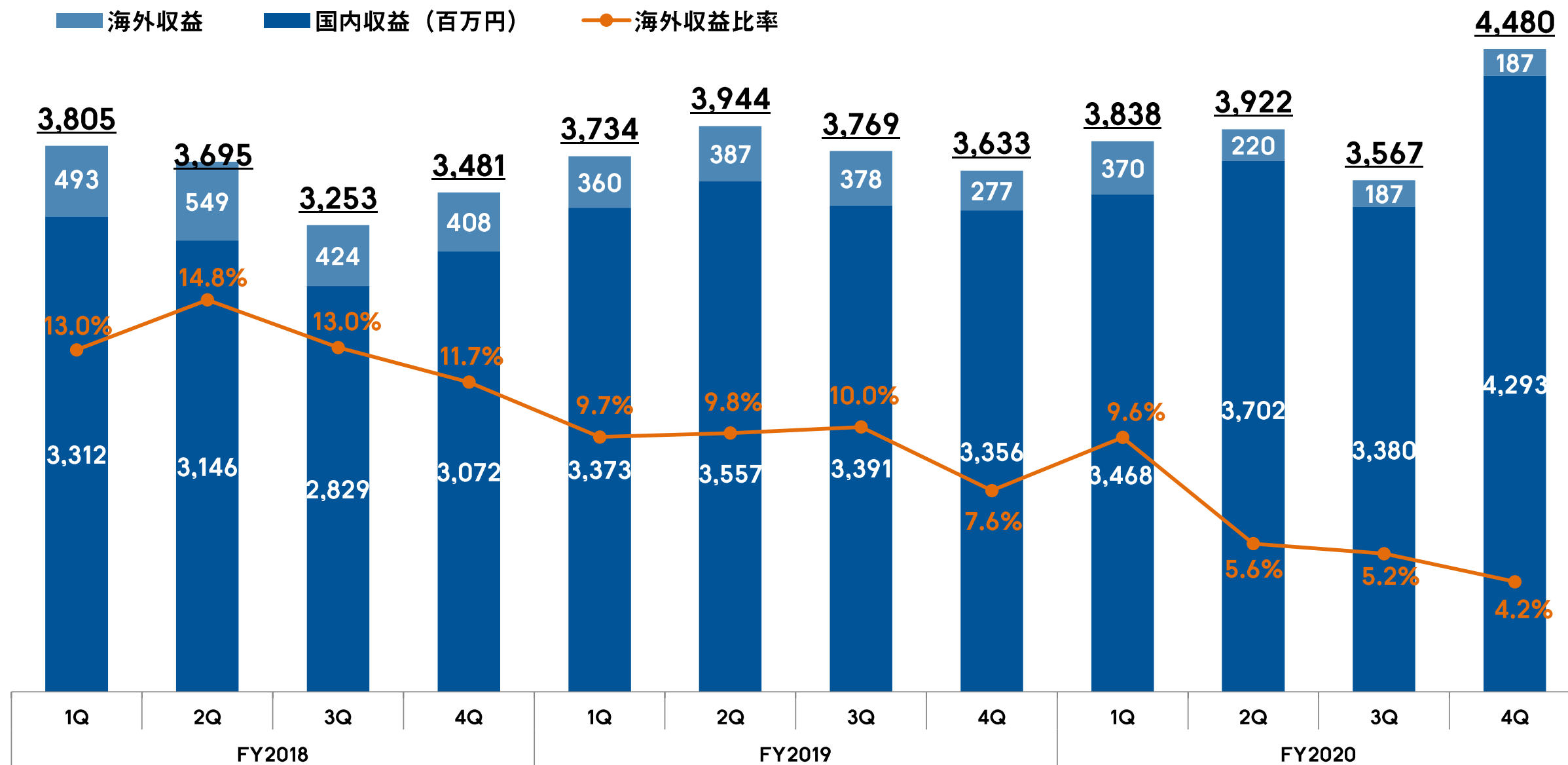


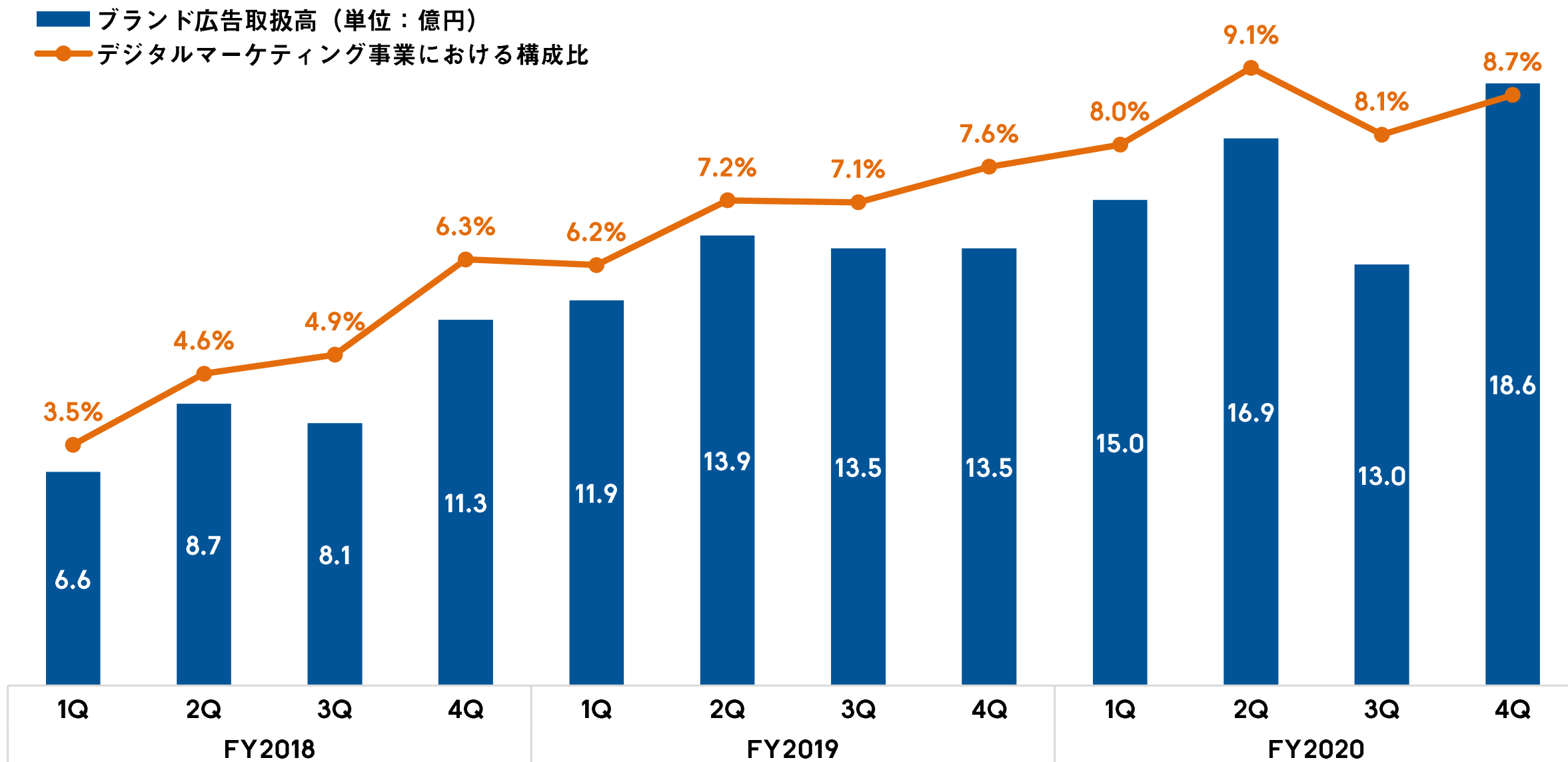
※ 2020年9月期よりIFRS16（リース会計基準）の適用に伴い、賃借料等の一部を金融費用として計上



※取扱高＝日本基準における売上高、収益＝IFRSにおける収益を指す

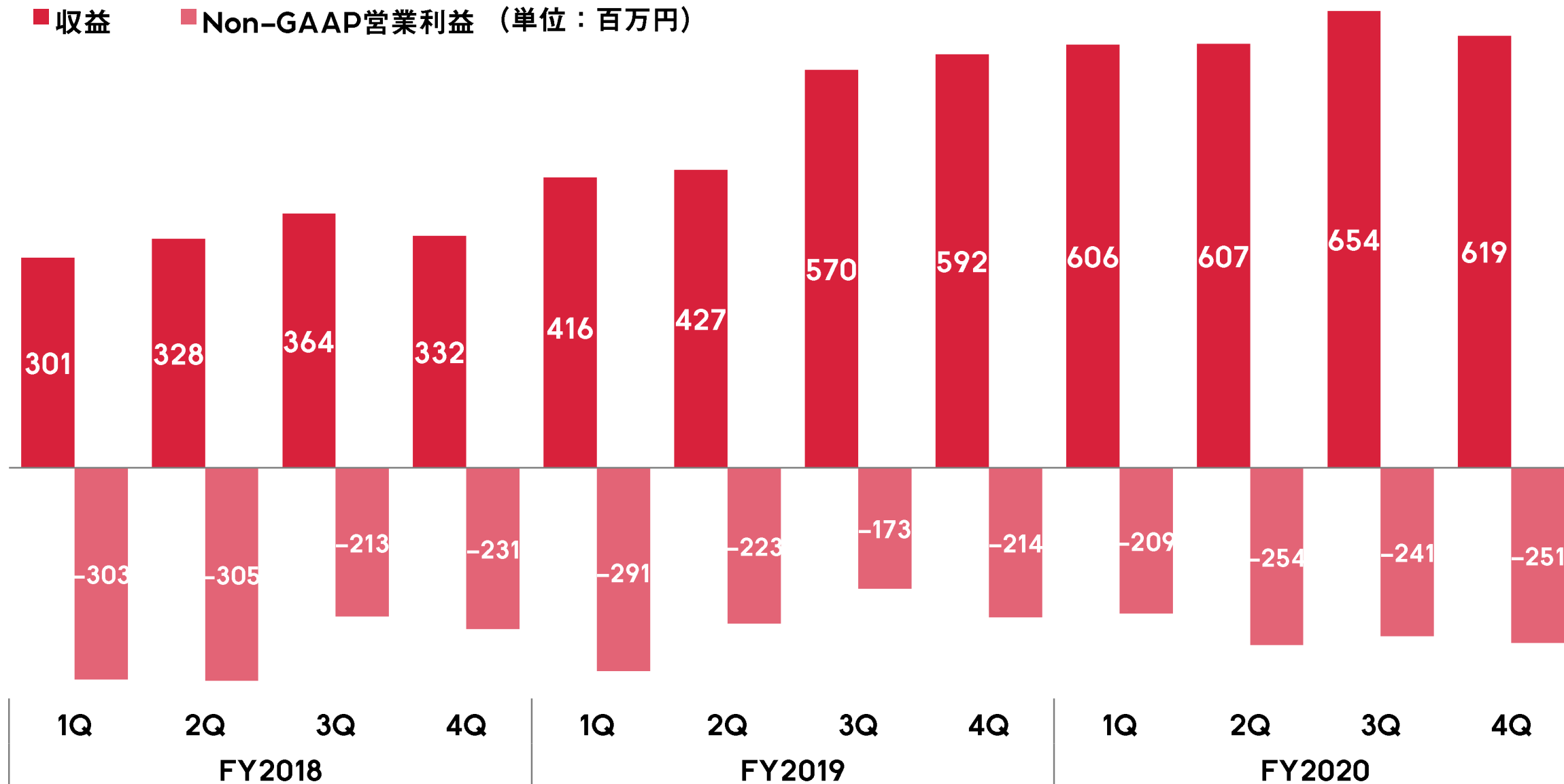


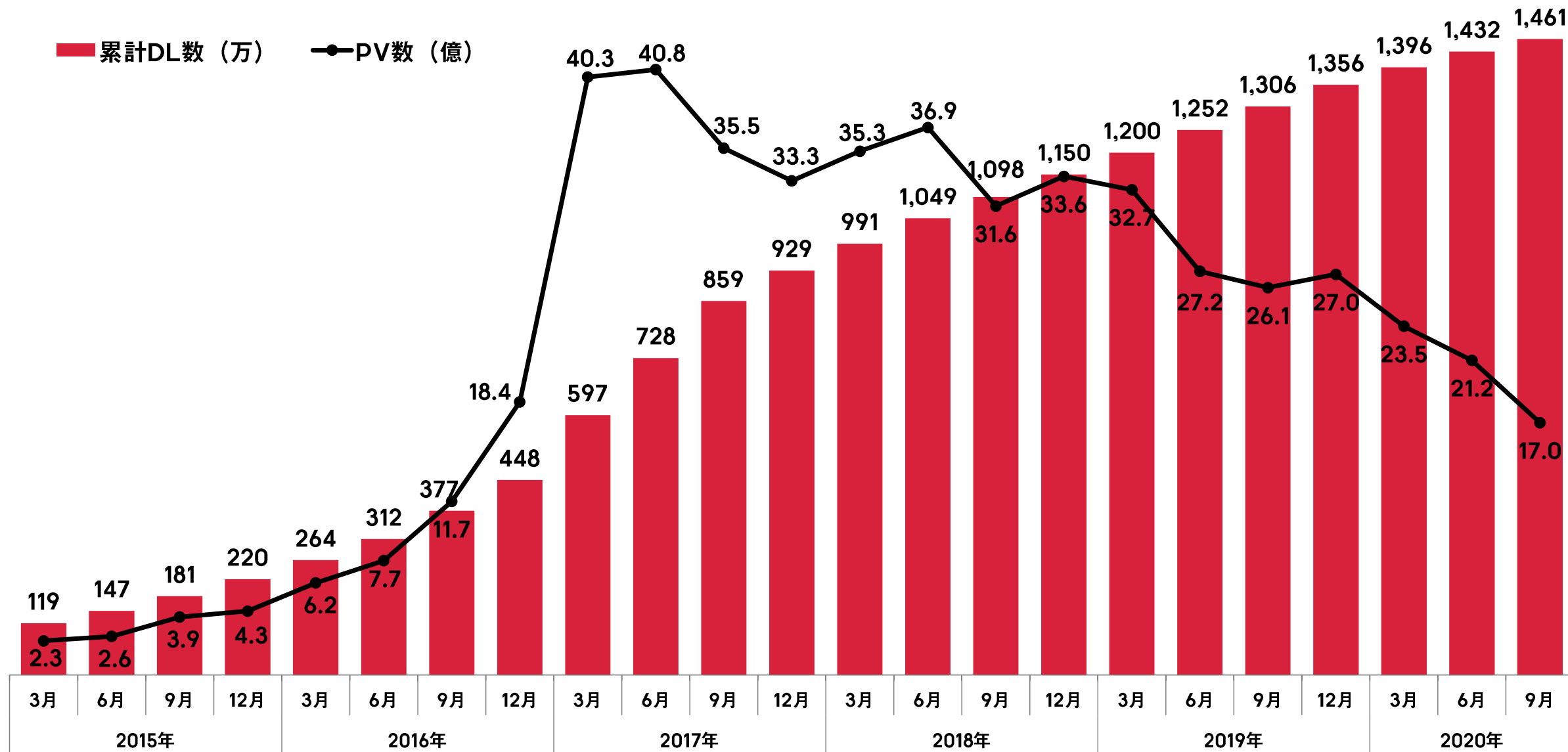




* 今Qから集計方法を変更、過去分についても遡及修正済

■ 収益 ■ Non-GAAP営業利益 (単位：百万円)

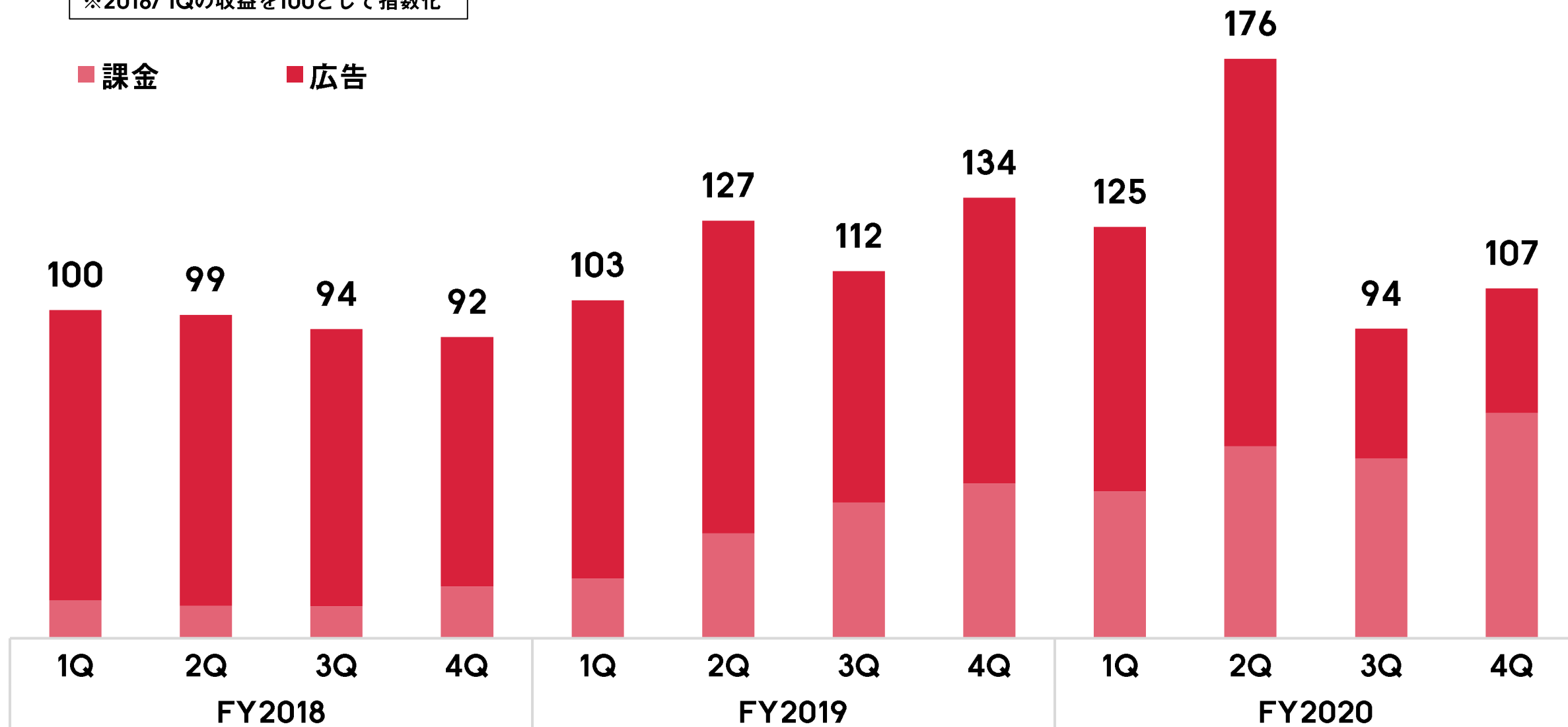




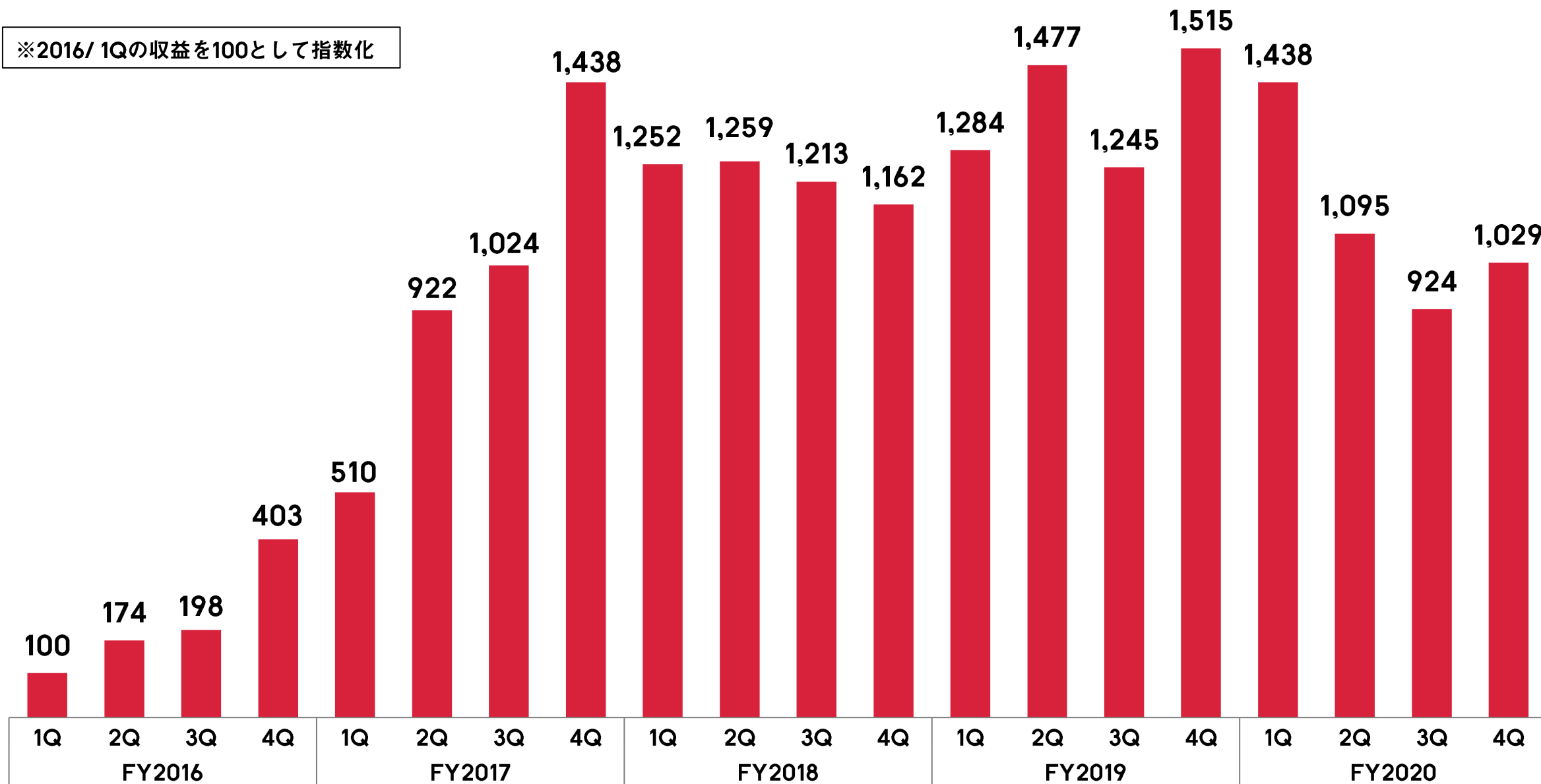
※2018/1Qの収益を100として指数化

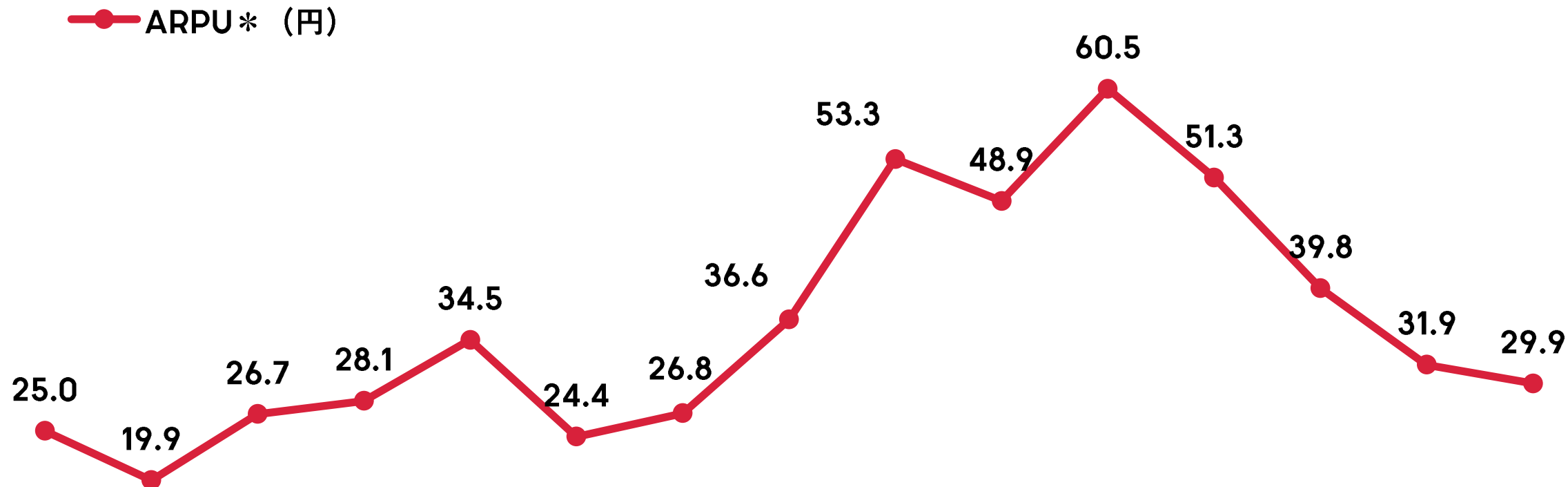
■ 課金

■ 広告



※2016/ 1Qの収益を100として指数化



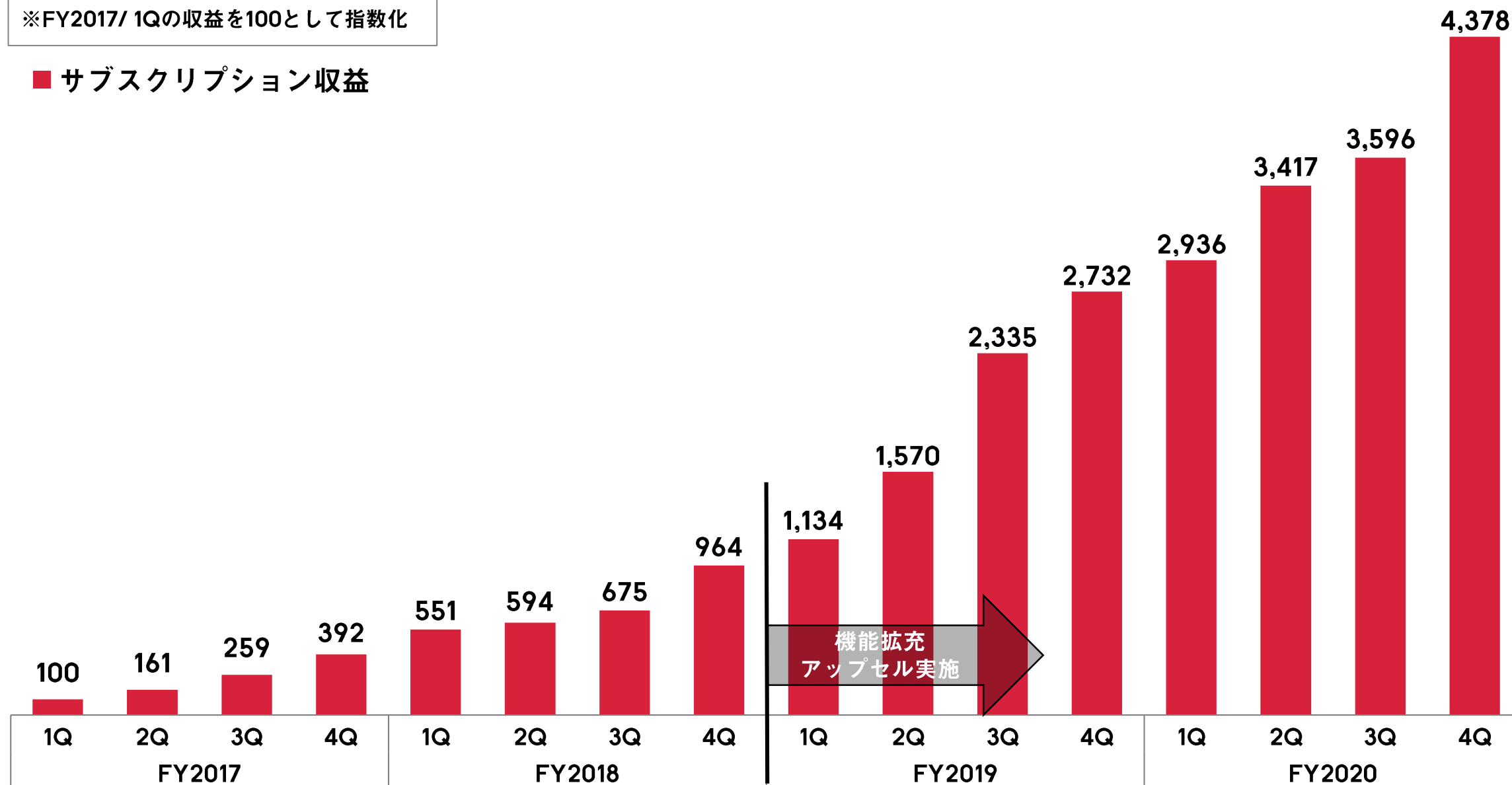


3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月
2017年				2018年				2019年				2020年		

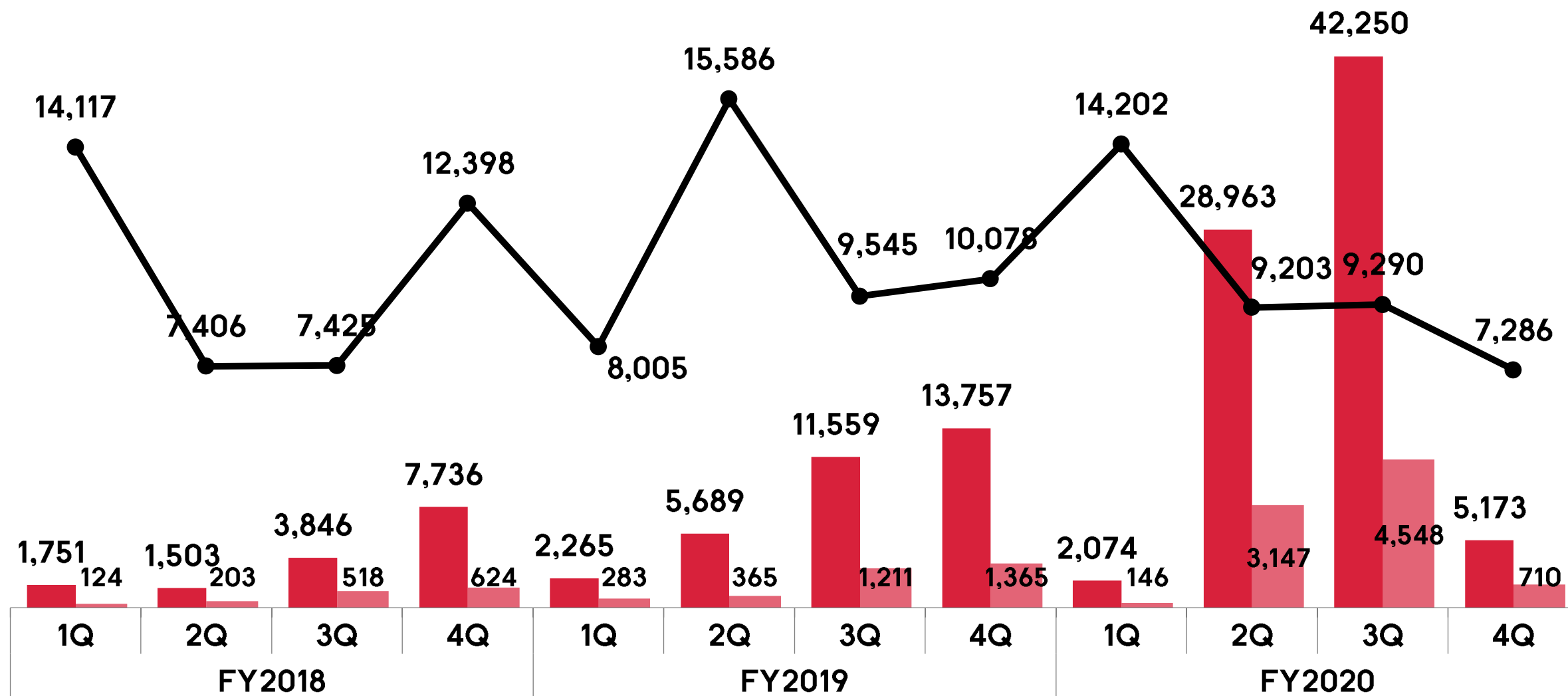
* ARPUの定義：マンガコンテンツ事業のto C収益（広告、課金、IP収益など）/MAU

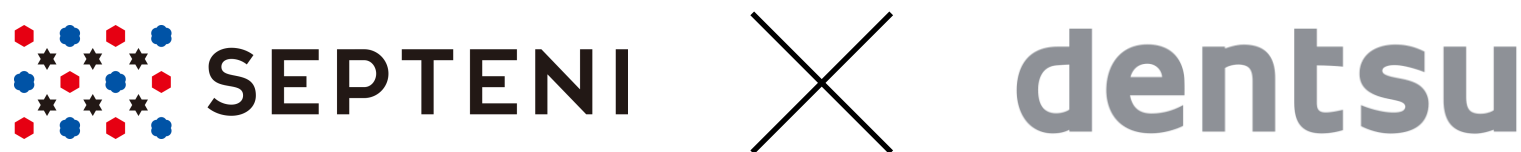
※FY2017/ 1Qの収益を100として指数化

■ サブスクリプション収益



■ 支援総額（千円） ■ 支援者数（人） ● 平均単価（円）





両社（セプターニグループ及び電通グループ）の連携により、

多様な才能を持った人材が集う働きがいあふれる組織環境を基盤として

顧客に対して最も優れたソリューションを提供することで業界の発展を牽引する、

国内最大のデジタルマーケティングパートナーになることを目指す

両社における専門性の違い・強みを活かし、短期・中期での施策を通じた
シナジー創出により顧客に提供する付加価値を向上させる



SEPTENI

短期・中期的施策群

dentsu

当社から電通グループへ
デジタルマーケティング事業の
ナレッジ、テクノロジーの提供

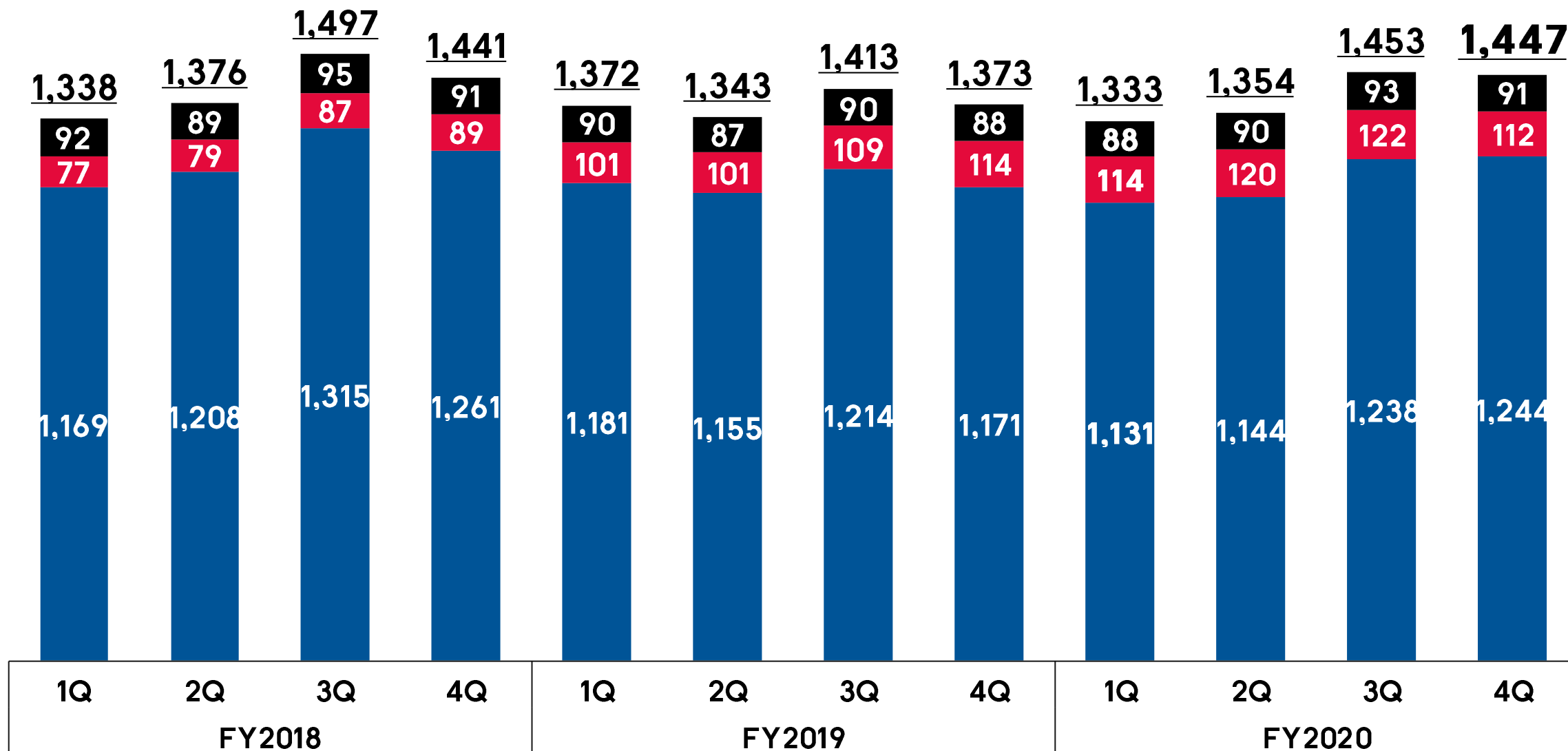
GANMA! を中心とした
当社メディアやプロダクトの
電通グループによる販売

電通グループが取り扱う
デジタルマーケティング案件の
広告運用を当社より支援

両社が保有する
データ資産の相互活用

両社の顧客基盤を活用した
オンライン/オフライン広告の
統合マーケティング提案

■ デジタルマーケティング事業 ■ メディアプラットフォーム事業 ■ 持株会社 (単位: 名)



※FY2019/4QにLion & Lion社の構造改革により47名が退職

会 社 名	株式会社セプテーニ・ホールディングス
代 表 者	代表取締役 グループ社長執行役員 佐藤 光紀
所 在 地	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
証 券 コ ー ド	4293 (JASDAQ)
事 業 内 容	インターネット事業を中心に事業展開する企業グループを統括する持株会社
設 立 日	1990年10月29日
資 本 金	2,125百万円
発 行 済 株 式 数	138,916,500株 (うち自己株式10,724,240株) ※
連 結 従 業 員 数	1,447名 (従業員) うち1,223名 (正社員)

※役員報酬BIP (Board Incentive Plan) 信託が保有する当社株式1,739,200株は含んでおりません。

純粋持株会社
セプテーニ・ホールディングス
デジタルマーケティング事業

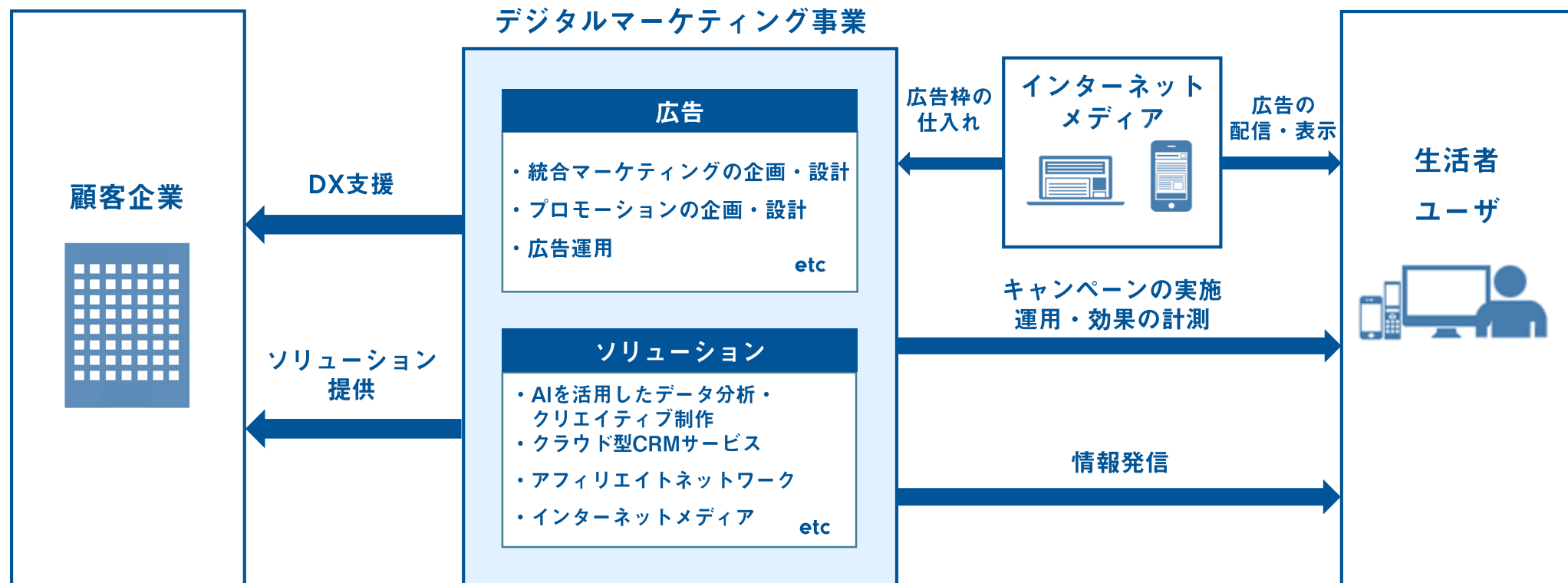
セプテーニ	デジタルマーケティング支援事業	Septeni Japan	デジタルマーケティング支援事業
MANGO	運用型デジタル広告オペレーション事業	ハイスコア	デジタルマーケティング支援事業
セプテーニ・オリジナル	ウェブサービスなどの企画・開発	Septeni Ad Creative	インターネット広告クリエイティブの企画・制作
セプテーニ・クロスゲート	アドネットワーク、プラットフォーム事業	トライコーン	CRMサービス事業
Septeni Asia Pacific	アジア太平洋地域におけるデジタルマーケティング支援事業	Septeni America	北米地域におけるデジタルマーケティング支援事業
七域広告	中国におけるデジタルマーケティング支援事業	SEPTENI TECHNOLOGY	ウェブサービスなどの企画、開発
JNJ INTERACTIVE	韓国におけるデジタルマーケティング支援事業	Lion Digital Global	東南アジア地域におけるデジタルマーケティング支援事業

メディアプラットフォーム事業

コミックスマート	マンガコンテンツ事業	gooddo	社会貢献プラットフォーム事業
ビビビット	採用プラットフォーム事業	Pharmarket	医療プラットフォーム事業
TowaStela	育児プラットフォーム事業	デライトチューブ	インターネットメディアの企画、制作、運営

新規事業開発
セプテーニ・ベンチャーズ

デジタル広告の販売と運用をはじめ、データ、AIを活用したソリューションの提供、電通グループとの提携によるオンライン・オフライン統合によるマーケティング支援等、デジタルマーケティングを中心として、**企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）における総合的な支援**を行う。



「マンガコンテンツ事業」では、**自社IP(知的財産)の企画・開発**を目的にマンガ家の育成・支援を手がけるとともに、専属作家によるオリジナル作品を中心に構成されたマンガアプリ「GANMA!」を**自社メディア**として運営。

その他に、社内ベンチャーから生まれた新規事業として、「採用」「社会貢献」「医療」「育児」に関するプラットフォーム型の事業等を展開。



(単位：百万円)

	2020年9月期 期末	2019年9月期 期末	増減	主な変動
流動資産合計	27,373	25,133	+2,240	現金および預金 △408 営業債権 +2,715
非流動資産合計	7,026	5,280	+1,745	その他の金融資産 +555 使用権資産 +1,008※
資産合計	34,398	30,413	+3,986	
流動負債合計	15,314	11,729	+3,585	営業債務 +2,254 その他の金融負債 +839※
非流動負債合計	3,299	3,875	△575	その他の金融負債 △644※
負債合計	18,613	15,604	+3,010	
資本合計	15,785	14,809	+976	利益剰余金 +1,193 その他の資本の構成要素 △223
負債及び資本合計	34,398	30,413	+3,986	

※ 2020年9月期よりIFRS16（リース会計基準）の適用に伴い、将来において支払うべき賃借料等を資産の部における使用権資産、負債の部におけるその他の金融負債として計上

(単位：百万円)	2020年 9月期 期末	主な内訳	2019年 9月 期末
営業活動による キャッシュ・フロー	2,340	減価償却費及び償却費 +774※ 営業債権の増加 △2,827 営業債務の増加 +2,555	1,258
投資活動による キャッシュ・フロー	△804	有価証券の売却による収入 △602 有価証券の取得による支出 △232	△205
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,941	短期借入金の返済による支出 +308 リース負債の返済による支出 △837※	△1,411
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△3		△76
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△408		△434
現金及び現金同等物の 期末残高	14,081		14,488

※IFRS16（リース会計基準）の適用に伴う影響